

令和 8 年度 シラバス

保育科 2 年

保育科2年

令和7年度入学生 開講科目表

柴田学園大学短期大学部

整理 番号	系列	科目 番号	科 目 名	単位	授業 形態	担 当 者	卒業 必修	幼稚園 必修	保育士 必修	ベビー シッター 必修	開講時期・時間				備 考	
											1 年		2 年			
											前	後	前	後		
1	01共通	2110	基 礎 化 学 Ⅱ	2	講義	柳 町 悟 司							2		生2・保2 同時開講	
2	02外国	2133	英 語 (2)	2	演習											開講せず
3	02外国	2134	コミュニケーションの外国語(1)	1	演習	ウォータース雅代							2			生2・保2 同時開講
4	02外国	2135	コミュニケーションの外国語(2)	1	演習	ウォータース雅代								2		生2・保2 同時開講
5	04専門	2207	運 動 あ そ び (3)	1	演習	今・佐藤裕			※	※			2			
6	04専門	2210	特 別 支 援 教 育	2	演習	奈 良 理 央	○	○	○	○			2			
7	04専門	2211	人間関係の指導法	1	演習	佐々木 美 子		○	○	○				2		
8	04専門	2212	環 境 の 指 導 法	1	演習	蝦 名 敦 子		○	○	○			2			
9	04専門	2213	言 葉 の 指 導 法	1	演習	高 橋 直 樹		○	○	○			2			
10	04専門	2215	子ども家庭福祉(1)	2	講義	棟 方 梢	○		○	○				2		
11	04専門	2218	子 ども の 保 健	2	講義	佐々木 美 子	○		○	○				2		
12	04専門	2222	子どもの食と栄養(1)	1	演習	岡 本 由美子	○		○	○			2			
13	04専門	2223	子どもの食と栄養(2)	1	演習	岡 本 由美子	○		○	○				2		
14	04専門	2224	表 現 現	2	演習	工 藤 里砂子	○	○	○	○			2			
15	04専門	2225	健 康 康	2	演習	今・佐藤裕	○	○	○	○			2			
16	04専門	2226	幼 児 理 解 と 援 助	1	演習	江 莉 川 淳 子		○	○	○				2		
17	04専門	2227	教育相談と支援	2	講義	高 橋 直 樹		○	○	○			2			
18	04専門	2228	保育内容指導法	1	演習	島 内 智 秋		○	○	○				2		
19	04専門	2229	健 康 の 指 導 法	1	演習	今・佐藤裕		○	○	○				2		
20	04専門	2230	表 現 の 指 導 法	1	演習	金 山 茉莉花		○	○	○			2			
21	04専門	2231	教職実践演習(幼)	2	演習	江 莉 川 淳 子		○	○	○				2		
22	04専門	2232	教育制度・課程論	2	講義	長 尾 悠 里		○	※	※				2		
23	04専門	2233	教育方法・技術	1	演習	佐 藤 ゆかり		○					2			
24	04専門	2236	教 育 実 習	4	実習	教職課程委員会		○				集中	集中			
25	04専門	2237	教育実習 事前事後指導	1	演習	島 内・高 橋		○				1	1	1		1年:事前2回事後2回 2年:事前3回事後1回 90分×8回
26	04専門	2246	子 ども と 造 形 (1)	1	演習	工 藤 千 華			※	※			2			
27	04専門	2247	子 ども と 造 形 (2)	1	演習	工 藤 千 華			※	※				2		
28	04専門	2248	子ども家庭支援論	2	講義	安 川 由貴子			○	○			2			
29	04専門	2250	社 会 的 養 護 (2)	1	演習	佐 藤 優 輝			○	○			2			
30	04専門	2251	子 育 て 支 援	1	演習	江 莉 川 淳 子			○	○			2			
31	04専門	2252	保 育 実 習 (2)	2	実習	保育士課程委員会			○	○			集中			
32	04専門	2253	保育実習指導(2)	1	演習	佐々木 美 子			○	○			2			
33	04専門	2254	ピ ア ノ 表 現 (1)	1	演習	工 藤 里砂子		○	○	○			2			
34	04専門	2255	ピ ア ノ 表 現 (2)	1	演習	工 藤 里砂子		○	○	○				2		
35	04専門	2256	図 画 工 作 表 現 (1)	1	演習	蝦 名 敦 子			※	※			2			
36	04専門	2257	図 画 工 作 表 現 (2)	1	演習	蝦 名 敦 子			※	※				2		
37	04専門	2258	在 宅 保 育	2	講義	江 莉 川 淳 子				○				2		
38	04専門	2259	子どもの文化と遊び	2	演習	保育科教員		○	○	○				2		
39	04専門	2260	子どものための総合演習	2	演習	江 莉 川 淳 子		○	○	○			2	2		
40	04専門	2261	運 動 あ そ び (4)	1	演習	今・佐藤裕			※	※				2		
41	04専門	2264	人 間 関 係	2	講義	佐々木 美 子	○	○	○	○			2			
42	04専門	2265	環 境	2	講義	蝦 名 敦 子	○	○	○	○				2		

○:免許・資格を取得するための必修科目 ※免許・資格を取得するために履修が望ましい科目

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K13001		基礎化学B		2	15	講義	30	前期	2年	柳町悟司			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼンター シジョン実務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター		
	○												
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○	
		生活科	社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)						
							2. 技能を確実に習得(技能習得)						
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						
							4. 状況を総合的に判断する(判断力)						
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						
							6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						
		労力を惜みず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							
		保育科					9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						
							10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						
			①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける				11. 計画を確実に実行する力(実行力)						
							○						
授業概要		基礎栄養学分野及び生化学分野の知識を講義で補完すると共に、管理栄養士国家試験の問題を教材として授業を進める											
授業の到達目標		特定分野の管理栄養士国家試験を正答できるようになることを目指し、そのために必要な知識及び考え方を習得する											
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	50 %	授業内活動	%	計 100 %					
		期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	%						
フィードバックの方法		授業内で行う小テスト：小テストを実施した次の時間に解説を行う 期末試験：採点終了後、希望者には点数等を伝達する											
教科書・教材		使用しない(自作のプリントを授業時に配布し使用する)											
参考書・参考文献等		文光堂 管理栄養士を目指す学生のための 生化学テキスト 羊土社 栄養科学イラストレイティッド 生化学 ほか											
履修上の注意等		本講義のは、管理栄養士養成校への編入学を希望する者に特化した内容である。管理栄養士養成校への編入学を希望する学生は履修が望ましい。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	消化吸収率					不要			配布プリントの復習・60分以上				
2	窒素出納					配布プリントの予習・60分以上			配布プリントの復習・60分以上				
3	血糖値とホルモンの関係					配布プリントの予習・60分以上			配布プリントの復習・60分以上				

4	受動輸送と能動輸送	配布プリントの予習・60分以上	配布プリントの復習・60分以上
5	膜タンパク質①(タンパク質の高次構造)	配布プリントの予習・60分以上	配布プリントの復習・60分以上
6	膜タンパク質②(トランスポーター)	配布プリントの予習・60分以上	配布プリントの復習・60分以上
7	膜タンパク質③(酵素)	配布プリントの予習・60分以上	配布プリントの復習・60分以上
8	脂肪酸(長鎖脂肪酸, 中鎖脂肪酸, 短鎖脂肪酸)	配布プリントの予習・60分以上	配布プリントの復習・60分以上
9	体液の緩衝作用	配布プリントの予習・60分以上	配布プリントの復習・60分以上
10	代謝と酵素	配布プリントの予習・60分以上	配布プリントの復習・60分以上
11	界面活性剤(胆汁酸の機能)	配布プリントの予習・60分以上	配布プリントの復習・60分以上
12	基礎代謝量	配布プリントの予習・60分以上	配布プリントの復習・60分以上
13	遺伝子のはたらき	配布プリントの予習・60分以上	配布プリントの復習・60分以上
14	ビタミン・ミネラル	配布プリントの予習・60分以上	配布プリントの復習・60分以上
15	免疫	配布プリントの予習・60分以上	配布プリントの復習・60分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K13002		コミュニケーションの外国語(1)		1	15	演習	30	前期	2年	ウォータース雅代		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネ ス実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	
	○			○	○	△	△	△	△	△		
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
		○										
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○
			社会で活動するために必要な知識・技能	1. 知識を正確に理解する(知識理解)						○		
				2. 技能を確実に習得(技能習得)						○		
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力	3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						○		
				4. 状況を総合的に判断する(判断力)						○		
				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						○		
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力	6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						○		
				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)						○		
			8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)						○			
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力	9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						○		
				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						○		
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)						○				
		保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける						○			
②子どもの心身の特性を知っている												
③子どもにとって望ましい環境を理解している												
④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている												
						⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる	○					
授業概要		ペアワークやグループワークを取り入れた演習を通じ、日常英会話と基本的な英文法を習得する。様々な場面でのモデル会話を理解し、英語の4技能（聴く、話す、読む、書く）を習得する事で、より良い英語でのコミュニケーションの仕方を学ぶ。										
授業の到達目標		テキスト中の登場人物間で交わされる簡潔な日常英会話例を習得することで、日常使用する語句と表現を理解し、よりうまく英語でのコミュニケーションをしていく方法を身に着ける。										
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	30 %	計 100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%					
フィードバックの方法		授業内提出物等は採点、確認後返却										
教科書・教材		Speaking of People Intro 人とつながる英語コミュニケーション ISBN978-4-523-1796-7 NAN'UN-DO										
参考書・参考文献等		自宅学習では中学・高校で使用した参考書、または中高生向けの英語復習サイトなどを活用すること										
履修上の注意等		教科書音声ストリーミングサービスを利用した音読練習、内容把握、練習問題などの予習復習を行う事。英和辞書（電子辞書等）を持参。積極的に挙手発言しましょう。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	Unit 1 Introductions *Subject Pronouns *“Be” and other Verbs					教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。（週当たり60分以上）			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える（30分以上）			
2	Unit 1 Introductions * Questions Starting with “Wh” and “How” *Possessive Pronouns * Yes/No questions with “be” and “do”					教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。（週当たり60分以上）			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える（30分以上）			
3	Unit 2 What Do You Do? * The difference between “What do you do?” and “What are you doing?”					教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。（週当たり60分以上）			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える（30分以上）			

4	Unit 2 What Do You Do? * Present Simple Tense (with "wh" questions and answers)	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
5	Unit 3 I'm Busy! * Adverbs of Frequency * How often? * How long?	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
6	Unit 3 I'm Busy! * Time expressions	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
7	Review Unit 1-3 * Information Exchange	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
8	Unit 4 What Does She Look Like? * Describing People	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
9	Unit 4 What Does She Look Like? * Comparatives	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
10	Unit 5 People and Places * Questions and Answers in the Present Tense	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
11	Unit 5 People and Places * Travel * Ideas About Japanese People	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
12	Unit 6 Like and Dislikes * Gerunds and Infinitives	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
13	Unit 6 Like and Dislikes * Agreeing and Disagreeing	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
14	Review Unit 4-6	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
15	Review まとめ	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。ノートを作成し、わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K13002		コミュニケーションの外国語(2)		1	15	演習	30	後期	2年	ウォータース雅代		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	ITセン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	
	○			○	○	△	△	△	△	△		
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
		○										
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○
			社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)						○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)						○
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)						○
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						○
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						○
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)						○
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)						○
			労力を惜みず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						○
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						○
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)						○				
保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける						○					
	②子どもの心身の特性を知っている						-					
	③子どもにとって望ましい環境を理解している						-					
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている						-					
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる						○					
授業概要		ペアワークやグループワークを取り入れた演習を通じ、日常英会話と基本的な英文法を習得する。様々な場面でのモデル会話を理解し、英語の4技能(聴く、話す、読む、書く)を習得する事で、より良い英語でのコミュニケーションの仕方を学ぶ。										
授業の到達目標		テキスト中の登場人物間で交わされる簡潔な日常英会話例を習得することで、日常使用する語句と表現を理解し、よりうまく英語でのコミュニケーションをしていく方法を身に着ける。										
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	30 %	計 100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%					
フィードバックの方法		授業内提出物等は採点后返却										
教科書・教材		Speaking of People Intro 人とつながる英語コミュニケーション ISBN978-4-523-1796-7 NAN' UN-DO										
参考書・参考文献等		テキスト中の登場人物間で交わされる簡潔な日常英会話例を習得することにより、日常使用する語句と表現を理解し、よりうまく英語でのコミュニケーションをしていく方法を身に着ける。										
履修上の注意等		教科書音声ストーリーミングサービスを利用した音読練習、内容把握、練習問題などの予習復習を行う事。英和辞書(電子辞書等)を持参。積極的に挙手発言しましょう。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	Unit 7 Personality * Personality words * Positive and Negative characteristics Comparative and Superlative Adjectives					教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)			
2	Unit 7 Personality * Comparative and Superlative Adjectives					教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)			
3	Unit 8 Tell Me About your Family * There is + singular / there are + plural * Count / Noncount Nouns					教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)			授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)			

4	Unit 8 Tell Me About Your Family * Modal Vverbs : Should and Must	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
5	unit 9 Feelings *Asking about and Expressing Feelings	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
6	unit 9 Feelings *Adjectives with “-ed” and “-ing”	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
7	Review Units 7-9	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
8	Unit 10 Communication * Nonverbal Communication	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
9	Unit10 Communication * Present Continuous Tense (with “wh” questions and answers)	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
10	Unit 11 Memories * Past Tense * Phrasal Verbs	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
11	Unit 11 Memories *Irregular Verbs	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
12	Unit 12 Into the Future * Future tense with “will” * Questions and answers with “will”	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
13	Unit 12 Into the Future * Future Tenses * Talking about Your Dream Vacation	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
14	Review Units 10 - 12	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)
15	Review まとめ	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する。わからない語がある場合は、辞書を引き発音、意味、品詞を調べ覚える。(週当たり60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K23032		運動あそび(3)		1	15	演習	30	前期	2年	今和香子・佐藤裕		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	※		※								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
授業概要		運動あそび（１）（２）での講義内容を基礎として、運動遊びを展開するうえで環境構成に配慮した指導上の留意点や安全管理等について理解を深め、幼児の身体の発育・発達に即した運動遊びの内容と指導法について学習する。										
授業の到達目標		幼児の運動遊びの指導内容・指導法をよりいっそう理解し、指導力を身に付ける。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%				
フィードバックの方法		・毎時間、授業内活動（動きの習得状況等）について解説する。 ・授業内提出物（模擬保育指導案等）は返却時に解説する。 ・グループワークは、発表時解説する。										
教科書・教材		「幼児の楽しい運動学習」不味堂出版										
参考書・参考文献等		必要に応じて資料を配布する。										
履修上の注意等		テキストを参考に各種の運動遊びについて調べ、講義終了後、幼児の指導上の留意点や安全管理等についてをノートにまとめる。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	講義内容を把握し、幼児の運動遊びの内容や効果、発達段階に合わせた指導について学ぶ。					テキストを参考に内容を概観する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
2	馴染みのある伝承遊びを応用させ、発達段階に合わせ遊びの変化を考える。					伝承遊びの遊び方を調べる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
3	さまざまな鬼遊びを体験し、鬼遊びのルールに変化を加えた方法について検討する。					鬼遊びを調べ、変化ルールを考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
4	身近な素材を利用した遊び①新聞紙・ダンボール・布など身近な素材を利用した遊びを実践的に指導法を検討する。					新聞紙・布を使った遊びを調べ、遊び方を考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
5	身近な素材を利用した遊び②新聞紙・ダンボール・布など身近な素材を利用した遊びの指導計画を立案し、実践的に指導法を検討する。					ダンボールを使った遊びを調べ、遊び方を考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
6	マットを使った遊びの特徴や効果を考慮した指導計画を立案し、実践的に指導法を検討する。					マットを使った遊びを調べる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			

7	跳び箱を使った遊びの特徴や効果を考慮した指導計画を立案し、実践的に指導法を検討する。	跳び箱を使った遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
8	鉄棒を使った遊びの特徴や効果を考慮した指導計画を立案し、実践的に指導法を検討する。	鉄棒を使った遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
9	平均台を使った遊びの特徴や効果を考慮した指導計画を立案し、実践的に指導法を検討する。	平均台を使った遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
10	運動遊びの指導法①グループごとに活動内容を考え、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。	模擬保育の準備をする。 ・30分	実施した模擬保育について分析し、指導法についてまとめる。 ・30分
11	運動遊びの指導法②グループごとに活動内容を考え、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。	模擬保育の準備をする。 ・30分	実施した模擬保育について分析し、指導法についてまとめる。 ・30分
12	運動遊びの指導法③グループごと模擬保育の内容を発表し合い、改善点などを話し合う。	各グループの模擬保育について改善点をまとめる。 ・30分	授業内容全体を振り返り、要点をまとめる。 ・30分
13	運動遊びの指導法④改善点や指導の要点をもとに、「水遊び（水の中での遊び中心）」について段階的な指導法を研究する。集中講義（1）	「水遊び」の安全管理及び指導計画を確認する。 ・30分	実施した模擬保育について分析し、指導法についてまとめる。 ・30分
14	運動遊びの指導法④改善点や指導の要点をもとに、「水遊び（水の中での遊び中心）」について段階的な指導法を研究する。集中講義（2）	「水遊び」の安全管理及び指導計画を振り返り、必要に応じて修正する。 ・30分	実施した模擬保育について分析し、指導法についてまとめる。 ・30分
15	講義全体を振り返り、それぞれの「運動あそび」についての学びを発表し合い、改善点や留意点をまとめる。	自分なりに講義全体を振り返り、反省をまとめる。 ・30分	授業内容全体を振り返り、要点をまとめる。 ・30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K21232		特別支援教育		2	15	演習	30	前期	2年	奈良理央	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
○		○	○	○							
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力									該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									
授業概要		近年の障害児・者への支援にかかわる制度上の動向や学校教育の現状を踏まえ、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育に関する知識・技能や具体的支援方法の習得を中心に授業を進めます。授業の展開にあたっては、多様な見方・考え方や課題等を概括し、客観的・具体的・効率的な課題解決の方法を知るために、講義だけではなく発表やディスカッション、ディベート等を適宜設定します。									
授業の到達目標		障害のある子どもの学習上または生活上の困難を理解し、個々の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法の習得を目指します。									
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	%	授業内活動	20 %	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	10 %				
フィードバックの方法		授業内活動及び授業内提出物について、個人及び全体への講評を行います。									
教科書・教材		特になし									
参考書・参考文献等		『障害児心理入門 [第2版]』ミネルヴァ書房、『特別支援教育』中山書店									
履修上の注意等		毎週の授業時に課題を配布しますので、当該授業終了時または次の授業開始時に忘れず提出してください。									
回	授 業 計 画		授業時間外学習								
			授業前・時間	授業後・時間							
1	障害の概念とインクルーシブ教育の歴史的経緯		シラバスに目を通し、全体の概要を把握しておくこと。1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度/週。							
2	特殊教育から特別支援教育への変遷過程及び特別支援教育に関する制度改正の重要点		前週で配布した資料に再度目を通しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度/週。							
3	障害のある子どもの学びの場と教育・支援内容としての学習指導要領		前週で配布した資料に再度目を通しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度/週。							
4	障害のある子どもの教育課程とインクルーシブ教育システムの構築		前週で配布した資料に再度目を通しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度/週。							
5	視覚障害、聴覚障害の障害特性に対する理解と支援		前週で配布した資料に再度目を通しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度/週。							
6	肢体不自由及び病弱・身体虚弱、知的障害の障害特性に対する理解と支援		前週で配布した資料に再度目を通しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度/週。							

7	LDの障害特性に対する理解と支援	前週で配布した資料に再度目を通しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度／週。
8	ADHDの障害特性に対する理解と支援	前週で配布した資料に再度目を通しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度／週。
9	ASDの障害特性に対する理解と支援	前週で配布した資料に再度目を通しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度／週。
10	貧困家庭や母国語の異なる子どもの困難に対する理解と支援	前週で配布した資料に再度目を通しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度／週。
11	通級による指導（並行通園）及び自立活動の概要	前週で配布した資料に再度目を通しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度／週。
12	個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成意義と活用	前週で配布した資料に再度目を通しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度／週。
13	特別支援教育体制の構築と特別支援教育コーディネーターの役割	前週で配布した資料に再度目を通しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度／週。
14	教員の専門性と機関間連携	前週で配布した資料に再度目を通しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度／週。
15	保護者との協力関係の構築とコンサルテーション（相談）	前週で配布した資料に再度目を通しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し、理解を深めてください。2時間程度／週。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21132		人間関係の指導法		1	15	演習	30	後期	2年	佐々木美子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
授業概要		幼稚園教育要領及び保育所保育指針の基本理念を踏まえた上で、子どもの人間関係をどのように捉えるのか、指導はどのようにあるべきかについて、日々の保育の中で起こりうる子どもの「人との関わり」に関する具体的な事例を考察する。										
授業の到達目標		実践場面における具体的な例を取り上げ、人間関係における内容や問題点を明らかにしていくことで、保育者としての資質を高めていく。発達に沿って保育者、家族、友達との間に築かれていく人間関係の様子を捉え、保育者としての関わり方を考え学んでいく。										
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	30	%		
		期末レポート	30 %		授業内提出物	40 %		その他		%		
フィードバックの方法		課題レポートは添削、授業で解説する。										
教科書・教材		『演習 保育内容 人間関係―基礎的事項の理解と指導法―』 建帛社										
参考書・参考文献等		必要に応じて資料配布										
履修上の注意等		実際の保育現場でも応用できるように具体的な事例を基に自分の考えをまとめる。グループワークを通して人間関係を深め、協力し合う姿勢を身に付ける。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	乳幼児期における人との関わりの発達① 「0歳児を中心に」					シラバスに目を通す 教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
2	乳幼児期における人との関わりの発達② 「1・2歳児を中心に」					事例を読み、自分の考えをまとめる 教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
3	乳幼児期における人との関わりの発達③ 「3歳児を中心に」					事例を読み、自分の考えをまとめる 教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
4	乳幼児期における人との関わりの発達④ 「4歳児を中心に」					事例を読み、自分の考えをまとめる 教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
5	乳幼児期における人との関わりの発達⑤ 「5歳児を中心に」					事例を読み、自分の考えをまとめる 教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
6	遊びの中で育つ人との関わり 「人と関わる力が育っていくプロセスとは」 「保育の中で気になる子どもの姿」 「人と関われない、関わらない子ども達」					事例を読み、自分の考えをまとめる 教科書を読む 30分以上			配布資料での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			

7	人との関わりが難しい子どもへの支援① 「園生活に馴染めない子の育ち」	事例を読み、自分の考えをまとめる 教科書を読む 30分以上	配布資料での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
8	人との関わりが難しい子どもへの支援② 「悩む親を支える」	事例を読み、自分の考えをまとめる 教科書を読む 30分以上	配布資料での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
9	保育における個の育ちと集団の育ちについて 「集団の中での役割と責任・道徳性の芽生え」	教科書を読む 30分以上	配布資料での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
10	領域の相互の関連性と保育展開① 「指導計画の意義・作成」	指導案作成について準備する (グループでの話し合い含む) 30分以上	実践について準備する 30分以上
11	領域の相互の関連性と保育展開② 「指導計画の意義・作成」	指導案作成について準備する (グループでの話し合い含む) 30分以上	実践について準備する 30分以上
12	領域の相互の関連性と保育展開③ 「指導計画の意義・作成・実践・評価」	実践について準備する (グループで模擬保育準備含む) 30分以上	実践の振り返りをする(反省・評価) 30分以上
13	領域の相互の関連性と保育展開④ 「指導計画の意義・作成・実践・評価」	実践について準備する (グループで模擬保育準備含む) 30分以上	実践の振り返りをする(反省・評価) 30分以上
14	人間関係の育ちを育む環境① 「保護者と保育者の人間関係」	教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
15	人間関係の育ちを育む環境② 「保育者同士の人間関係」 まとめ 「演習の振り返りとその先の課題」「よい人間関係を築くために」	教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21132		環境の指導法		1	15	演習	30	前期	2年	蝦名敦子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		子どもは自ら環境に働きかけるとともに、環境から働きかけられ、影響を受けながら成長する。乳幼児期の子どもたちに必要な環境とは、どのようなものなのか。保育者として子どもたちの育ちを支える環境を通しての援助について、中庭整備（畑づくり）などの演習を通し、適切な指導法を学習する。										
授業の到達目標		○幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、環境の領域のねらい及び内容を理解する。 ○幼児の発達や学びの過程を理解し、庭の整備（「土」に親しむ）などの実践を通して具体的な指導場面を想定しながら、保育を構想する方法を身に付ける。										
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	50	%		
		期末レポート	%		授業内提出物	50		%	その他	%		
		計 100 %										
フィードバックの方法		授業内活動については、発表の時間を設けて交流を図り、解説する。授業内提出物については、その結果を明らかにし、次の授業に反映させる。										
教科書・教材		幼稚園教育要領（平成29年3月31日告示 文部科学省）、保育所保育指針（平成29年3月31日告示 厚生労働省）、幼保連携型認定こども園・保育要領（平成29年3月31日告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省）										
参考書・参考文献等		授業中に必要に応じて資料プリントを配布する。										
履修上の注意等		提出物は期日を守ること。外での活動では、軍手の準備や服装に留意すること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション 幼稚園教育の基本、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」、領域「環境」1ねらい 2内容、これまでの授業実践の紹介					事前に幼稚園教育要領に目を通す。30分。			学習内容を整理する。30分以上。			
2	地面の中にいる虫について、絵本を通して理解を深める。班で1冊絵本の読み聞かせをし、その内容をまとめ、発表し合う。					幼稚園教育要領の領域「環境」に関する部分に目を通す。30分。			学習内容を整理する。30分以上。			
3	Part1 プロジェクト1-1：自然の触れ合いから環境を考える。担当箇所の確認、草取り。					外の活動の準備。10分。			学習内容の整理。30分。			
4	プロジェクト1-2：土づくりと名札付け 生物学の特別講義：土づくりについて					用具の準備。10分。			学習内容の整理。30分。			
5	プロジェクト1-3：苗を植える（枝豆、ミニトマト）。					活動ができるように服装や用具について準備。10分。			保育の指導法について整理。30分。			
6	プロジェクト1-4：苗を植える（サツマイモ）。					庭の植物などの名前を調べる。30分。			保育の指導法について整理。30分。			

7	身近な文化施設を知る：れんが倉庫美術館訪問	訪問の準備。10分	保育のケースに置き換えて指導法について整理。30分。
8	Part2-1：自然と造形活動（カラス除けづくり）①発想、構想	材料・用具の準備。10分	学習内容の整理。30分。
9	Part2-2：自然と造形活動（カラス除けづくり）②製作	材料・用具の準備。10分。	途中経過の振り返り。30分。
10	Part2-3：自然と造形活動（カラス除けづくり）③設置 模擬保育の班分け	材料・用具の準備。10分。	設置した後の状況確認。30分。
11	模擬保育について：進め方と準備について 班ごとにそれぞれの担当を決め、指導案の作成しながら、模擬保育の準備をする。	材料・用具の準備。10分。	時間が足りない場合は各班で準備。30分。
12	模擬保育の実践（1,2班）とその振り返りを通して、保育の改善について検討する（シートに記録）。	模擬保育の準備。30分。	指導案の振り返りと学習内容の整理。30分。
13	模擬保育の実践（3,4班）と、その振り返りを通して保育の改善について検討する（シートに記録）。	模擬保育の準備。30分。	指導案の振り返りと学習内容の整理。30分。
14	模擬保育の実践（5,6班）と、その振り返りを通して保育の改善について検討する（シートに記録）。	模擬保育の準備。30分。	指導案の振り返りと学習内容の整理。30分以上。
15	予備日と総括。	模擬保育の準備。またはこれまでの模擬保育の振り返り。30分。	学習内容の整理。30分。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21132		言葉の指導法		1	15	演習	30	前期	2年	高橋直樹		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園 教諭	ベビー シッター	編入							
	○	○	○	○								
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目 に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		領域「言葉」に関する実践力の向上を図るため、言葉の指導法を習得し、模擬保育を行う。										
授業の到達目標		絵本、紙芝居、言葉遊び等、具体的な保育教材を用いて保育を構想する実践力を身につける。										
単位認定の方法		期末試験	50 %		授業内小テスト			%	授業内活動	25 %		計 100 %
		期末レポート			%	授業内提出物	25 %		その他			
フィードバックの方法		授業内活動：授業内に振り返りと解説と行う。 授業内レポート：成績不良者に個別指導を行う。										
教科書・教材		浅井拓久也『指導法もいっしょに学ぶ保育内容「言葉」』教育情報出版										
参考書・参考文献等		随時プリント等を用いる。										
履修上の注意等		教科書は毎回必ず持参すること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間				授業後・時間		
1	子どもと言葉					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）				授業で学習した内容について、復習する（30分以上）		
2	乳児の言葉の発達を支える保育の指導法とは					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）				授業で学習した内容について、復習する（30分以上）		
3	1歳以上3歳未満児の言葉の発達を支える保育の指導法とは					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）				授業で学習した内容について、復習する（30分以上）		
4	3歳以上児の言葉の発達を支える保育の指導法とは					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）				授業で学習した内容について、復習する（30分以上）		
5	模擬保育の目的					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）				授業で学習した内容について、復習する（30分以上）		
6	模擬保育の準備					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）				授業で学習した内容について、復習する（30分以上）		

7	模擬保育の留意事項	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
8	指導案の目的	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
9	指導案の書き方	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
10	実習日誌と指導案の関係性	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
11	模擬保育（1）	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
12	模擬保育（2）	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
13	模擬保育（3）	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
14	模擬保育の振り返り	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
15	児童文化財を活用した言葉の指導法	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21011		子ども家庭福祉(1)		2	15	講義	30	後期	2年	棟方梢		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
授業概要		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
		近年、少子化や児童虐待、ドメスティック・バイオレンス、子どもの貧困、地域子育て支援の充実などの問題を受け、子どもを健全に育てるための施策の重要性が増している。保育士は「子ども家庭福祉専門職」であるが、子どもへの支援だけではなく、家庭や地域と連携しながら子育て環境をより良いものにしていく役割も求められている。本講義では、子ども家庭福祉とは何か、なぜ重要なのかということについて学ぶことを目的とする。										
授業の到達目標		①保育士を含む子ども家庭福祉専門職に求められる、子ども家庭福祉の理念・歴史・権利保障・法制度及び具体的施策について理解できる。 ②現代の日本社会の現状や特徴を踏まえて、子ども家庭福祉の諸課題等について、自己の見解を口頭及び文章を通じて説明できる。										
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	25	%		
		期末レポート	50 %		授業内提出物	25 %		その他		%		
フィードバックの方法		授業内活動及び提出物は、受講者全体にコメントすることで、授業内容をふり返り理解を深めることとする。										
教科書・教材		『事例で楽しく学ぶ子ども家庭福祉』中央法規										
参考書・参考文献等		講義内で適宜案内する。										
履修上の注意等		教科書は必ず持参すること。授業後にリアクションペーパーを提出すること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	子ども家庭福祉の理念と概念					第1章を読み、子ども家庭福祉の理念と概念について考えておく(90分以上)。			授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる(90分以上)。			
2	子ども家庭福祉の歴史の変遷					第2章を読み、子ども家庭福祉の歴史の変遷について考えておく(90分以上)。			授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる(90分以上)。			
3	子どもの人権擁護					第3章を読み、子どもの人権擁護について考えておく(90分以上)。			授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる(90分以上)。			
4	子ども家庭福祉の制度と法体系					第4章を読み、子ども家庭福祉の制度と法体系について考えておく(90分以上)。			授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる(90分以上)。			
5	子ども家庭福祉の実施体系					第5章を読み、子ども家庭福祉の実施体系について考えておく(90分以上)。			授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる(90分以上)。			
6	児童福祉施設					第6章を読み、児童福祉施設について考えておく(90分以上)。			授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる(90分以上)。			

7	子ども家庭福祉の専門職	第7章を読み、子ども家庭福祉の専門職について考えておく（90分以上）。	授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる（90分以上）。
8	少子化と地域子育て支援の現状と課題	第8章を読み、少子化と地域子育て支援の現状と課題について考えておく（90分以上）。	授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる（90分以上）。
9	母子保健と子どもの健全育成	第9章を読み、母子保健と子どもの健全育成について考えておく（90分以上）。	授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる（90分以上）。
10	多様な保育ニーズへの対応	第10章を読み、多様な保育ニーズへの対応について考えておく（90分以上）。	授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる（90分以上）。
11	児童虐待、DVとその防止	第11章を読み、児童虐待、DVとその防止について考えておく（90分以上）。	授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる（90分以上）。
12	社会的養護	第12章を読み、社会的養護について考えておく（90分以上）。	授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる（90分以上）。
13	障害のある子どもへの対応	第13章を読み、障害のある子どもへの対応について考えておく（90分以上）。	授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる（90分以上）。
14	貧困家庭、外国籍、少年非行等の子どもとその家庭への対応	第14章を読み、貧困家庭、外国籍、少年非行等の子どもとその家庭への対応について考えておく（90分以上）。	授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる（90分以上）。
15	子ども家庭福祉の動向と展望	第15章を読み、子ども家庭福祉の動向と展望について考えておく（90分以上）。	授業内容をふり返り、自分の考えをまとめる（90分以上）。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21021		子どもの保健		2	15	講義	30	後期	2年	佐々木美子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		子どもの心身の健康と保健の意義、身体的発育・発達を学ぶとともに、心身の健康状態把握について、子どもの疾病の予防及び適切な対応について学ぶ。										
授業の到達目標		子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義と身体的な発育・発達と保健について理解する。健康状態とその把握の方法、疾病とその予防法、他職種間の連携・協働の下での適切な対応を理解する。個や集団の心身における健康問題発生を最小限に抑え、問題発生時、対応できるように学ぶ。										
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	20 %	計 100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%					
フィードバックの方法		課題レポートは添削、授業で解説する。										
教科書・教材		「授業で現場で役立つ！子どもの保健テキスト」編著 小林美由紀・編集協力 森脇 浩一 診断と治療社										
参考書・参考文献等		「子どもの健康と安全」小林美由紀 診断と治療社 ・ 「子どもの保健・健康と安全」東京教学社 ・ 必要に応じて資料配布										
履修上の注意等		各章のポイントを押さえ、振り返り問題に取り組みながら理解を深める。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	「子どもの健康と保健」 ①保健活動の意義と目的					シラバスに目を通す 教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
2	「子どもの健康と保健」 ②子どもの出生と母子保健の意義 ③現代社会における子どもの健康に関する現状と課題					日本・出身県の出生数や出生数減少の背景などについて調べる 教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
3	「子どもの発育・発達と保健」 ①子どもの身体発育と運動機能の発達					教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
4	「子どもの発育・発達と保健」 ②生理機能の発達と生活習慣					教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
5	「地域における保健活動と子どもの虐待防止」					弘前市で行われている健康支援について調べる 教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
6	「子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握①」					各自が罹患した感染症名・罹患年齢を調べる 各自の予防接種歴・接種年齢を調べる 教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			

7	「子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握②」	教科書を読む	30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
8	「子どもの病気」 ①子どもの免疫の発達と感染症の特徴	教科書を読む	30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
9	「子どもの病気」 ②感染症の予防及び適切な対応	教科書を読む	30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
10	「子どもの病気」 ③救急疾患の特徴と適切な対応 ④新生児の病気、新生児にわかる先天性の病気の特徴と対応	各自の出生時身長や体重等を調べる 先天性の疾患について調べる 教科書を読む	30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
11	「子どもの病気」 ⑤アレルギー疾患の特徴と適切な対応 「子どもへの健康指導を考える①」	健康指導の内容・方法について調べる 教科書を読む	30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
12	「子どもの病気」 ⑥慢性疾患の特徴と適切な対応 「子どもへの健康指導を考える②」	課題への取り組み 教科書を読む	30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
13	「保護者との情報共有と家族の支援」 「子どもへの健康指導を考える③」	課題への取り組み 教科書を読む	30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
14	「子どもの健康診断と関連機関との連携」 「子どもへの健康指導を考える④」	課題への取り組み 教科書を読む	30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
15	「子どもへの健康指導を考える⑤」 まとめ	課題への取り組み	30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21022		子どもの食と栄養(1)		1	15	演習	30	前期	2年	岡本由美子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
授業概要		保育士、幼稚園教諭等を目指す学生が、栄養学、調理学などの「食」に関する基本的な知識を学び、 子どもの身体的発育や発達、精神的特徴を理解した上で「食育」の実践を試みる。										子ども
授業の到達目標		① 成長・発達期にある子どもについて理解できる 幼・学童期の栄養と食生活の特徴を理解できる 食育について理解し実践できる 別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解できる 施設の給食の役割を理解できる										② 乳・ ③ ④ 特 ⑤ 児童福祉
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	%	授業内活動	10 %	計		100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	40 %	その他	%					
フィードバックの方法		アンケートや課題物に対しては授業内で解説し、場合によっては個別指導を行う。質問には授業内外でその都度回答する。										
教科書・教材		子どもの食と栄養 第3版 保育現場で活かせる食の基本 : 羊土社										
参考書・参考文献等		子育て・子育てを支援する 子どもの食と栄養 : 萌文書林 他										
履修上の注意等		演習は調理実習も含む。その場合、エプロン、ハンドタオル、名札を用意し、衛生に配慮して行う。 (ピアス、指輪、時計等は外す。爪は短く切り、マニキュア等は落としてくること)										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション (事前アンケート・練習問題) 子どもの健康と食生活の意義					シラバスを読む			授業内容を復習、または課題を完成する。不明な点は質問する。 30分以上			
2	子どもの健康と食生活の意義 【演習】カウプ指数					教科書の左記の範囲を読む 30分以上			授業内容を復習、または課題を完成する。不明な点は質問する。 30分以上			
3	栄養に関する基礎知識 【演習】体組成測定と個人の適正エネルギー量の計算					教科書の左記の範囲を読む 30分以上			授業内容を復習、または課題を完成する。不明な点は質問する。 30分以上			
4	栄養に関する基礎知識 栄養とはなにか					教科書の左記の範囲を読む 30分以上			授業内容を復習、または課題を完成する。不明な点は質問する。 30分以上			
5	栄養に関する基礎知識 栄養素の種類とはたらき					教科書の左記の範囲を読む 30分以上			授業内容を復習、または課題を完成させる。不明な点は質問する。 30分以上			
6	栄養に関する制度 【演習】自分に合ったエネルギー量					教科書の左記の範囲を読む 30分以上			授業内容を復習、または課題を完成させる。不明な点は質問する。 30分以上			

7	栄養に関する制度 【演習】バランスガイド	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
8	乳児期の食生活 乳児期	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
9	乳児期の食生活 離乳期	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
10	乳児期の食生活 【調理実習】調乳・離乳食	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
11	乳児期の食生活 【調理実習】調乳・離乳食	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
12	幼児期の発育・発達と食生活 幼児期の心身の発達と食生活、栄養の問題点	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
13	幼児期の発育・発達と食生活 【調理実習】幼児食	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
14	幼児期の発育・発達と食生活 【調理実習】幼児食	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
15	幼児期の発育・発達と食生活 幼児期の心身の発達と食生活、栄養の問題点	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21022		子どもの食と栄養(2)		1	15	演習	30	後期	2年	岡本由美子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		保育士、幼稚園教諭等を目指す学生が、栄養学、調理学など食の基本的な知識や子どもの身体的発育・発達、精神的特徴などを理解して、「食育」を実践できるように学ぶ。										
授業の到達目標		① 成長・発達期にある子どもについて理解できる ② 乳・幼・学童期の栄養と食生活の特徴を理解できる ③ 食育について理解し実践できる ④ 疾病および体調不良の子どもについての基礎知識を理解できる ⑤ 児童福祉施設の給食の役割を理解できる										
単位認定の方法		期末試験	50 %		授業内小テスト		%		授業内活動	10 %		計 100 %
		期末レポート	%		授業内提出物		40 %		その他	%		
フィードバックの方法		アンケートや評価表を用いながらまとめや解説をする。質問はその都度回答する。										
教科書・教材		子どもの食と栄養 第3版 保育現場で活かせる食の基本 : 羊土社										
参考書・参考文献等		子育て・子育てを支援する 子どもの食と栄養 : 萌文書林										
履修上の注意等		演習は調理実習も含む。その場合、エプロンまたは割烹着、ハンドタオル、名札を用意し、衛生に配慮して行う。（ピアス、指輪、時計等は外す。爪は短く切り、マニキュア等は落としてくること）										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	妊娠期と授乳期の食生活 妊娠前の食生活					シラバスを読む			授業内容を復習、または課題を完成させる。不明な点は質問する。 30分以上			
2	妊娠期と授乳期の食生活 妊娠期・授乳期の食生活					教科書の左記の範囲を読む 30分以上			授業内容を復習、または課題を完成させる。不明な点は質問する。 30分以上			
3	学童期・思春期の発育・発達と食生活 学童期・思春期の食生活と栄養問題					教科書の左記の範囲を読む 30分以上			授業内容を復習、または課題を完成させる。不明な点は質問する。 30分以上			
4	学童期・思春期の発育・発達と食生活 学校給食と栄養教育					教科書の左記の範囲を読む 30分以上			授業内容を復習、または課題を完成させる。不明な点は質問する。 30分以上			
5	生涯発達と食生活 生涯発達と変化					教科書の左記の範囲を読む 30分以上			授業内容を復習、または課題を完成させる。不明な点は質問する。 30分以上			
6	生涯発達と食生活 成人期・高齢期の課題と対策					教科書の左記の範囲を読む 30分以上			授業内容を復習、または課題を完成させる。不明な点は質問する。 30分以上			

7	食育の基本と内容 食育の基本・食育の計画と評価	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
8	食育の基本と内容 食育のための環境づくり	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
9	食育の基本と内容 【調理実習】収穫祭	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
10	食育の基本と内容 【調理実習】収穫祭	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
11	食育の基本と内容 収穫祭のまとめ	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
12	食育の基本と内容 【まとめ発表】収穫祭	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
13	家庭や児童福祉施設における食事と栄養 児童福祉施設における食事と栄養	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
14	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 体調不良や疾患、障害のある子どもへの対応	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上
15	アレルギー疾患をもつ子どもの食と栄養 保育所での食物アレルギー対応	教科書の左記の範囲を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。不明な点は質問す る。 30分以上

令和8年度

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21032		表現		2	15	演習	30	前期	2年	工藤里砂子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		領域「表現」のねらい及び内容を理解し、音楽、造形、身体、言葉などによる様々な表現を通して、幼児が表現活動を楽しむための支援に必要な基礎知識等を習得する。										
授業の到達目標		幼児の「あそび」という日常体験が「表現」につながり、また幼児の成長に不可欠な学びが含まれていることを理解する。幼児と共に感じ活動できる能力を涵養し、理解や支援に必要な知識、技能、表現力や態度等を身に付ける。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	30	%	授業内活動	40	%	計 100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	30	%	その他		%			
フィードバックの方法		提出物や作品、小テストを採点、コメントを記入し返却する										
教科書・教材		なし。適宜プリント等を配布する。										
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）										
履修上の注意等		各自ファイルを用意し、配布資料等を保管する 感触あそび「土粘土を楽しむ」では、衣類が汚れる場合があります。運動着またはエプロン等着用可。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション 幼稚園教育要領及び保育所保育指針における、領域「表現」のねらい及び内容の理解と、幼児の表現している姿やその発達を知る					幼稚園教育要領及び保育所保育指針の「表現」と「感性」に関わる項をよく読む・30分			幼稚園教育要領及び保育所保育指針や配布資料を再読し、乳幼児の表現活動について復習する・30分			
2	乳幼児が表現している様々な事例を、動画（参考DVD「主体的な遊びで育つ子ども」）を通して学び、それぞれについて考察する① 0～1歳児					乳幼児が遊んでいる様子を観察する・30分			授業で学んだことを復習し、その視点から再度幼児が遊んでいる姿を観察する・30分			
3	幼児が表現している様々な事例を、動画（参考DVD「主体的な遊びで育つ子ども」）を通して学び、それぞれについて考察する② 2～3歳児					幼児が遊んでいる様子を観察する・30分			授業で学んだことを復習し、その視点から再度幼児が遊んでいる姿を観察する・30分			
4	幼児が表現している様々な事例を、動画（参考DVD「主体的な遊びで育つ子ども」）を通して学び、それぞれについて考察する③ 4～5歳児					幼児が遊んでいる様子を観察する・30分			授業で学んだことを復習し、その視点から再度幼児が遊んでいる姿を観察する・30分			
5	身近な素材による教材研究 感触あそび「土粘土」を楽しむ① 「どろ」とあそび					保育現場でよく使用されている粘土、「土粘土」「小麦粘土」「油粘土」「紙粘土」の特性を調べておく・30分			学習内容を整理する 土粘土についての作文を作成する・30分			
6	身近な素材による教材研究 感触あそび「土粘土」を楽しむ② 「かぜ」のかたち					材料の準備 日常生活で風を意識してみる・30分			学習内容を整理する・30分			

7	身近な素材による教材研究 感触あそび「土粘土」を楽しむ③ 「みず」のかたち	日常生活で水を意識してみる・30分	学習内容を整理する・30分
8	身近な素材による教材研究 感触あそび「土粘土」を楽しむ④ 「かお」のかたち	人の顔に興味を持ち観察する・30分	学習内容を整理する・30分
9	油絵具で友だちの顔を描く・モノプリント	モノプリントについて調べる・30分	学習内容を振り返り、まとめる・30分
10	コミュニケーションとしての音楽表現 音楽表現と身体表現の融合：ボディパーカッション 基本動作と「さんぽ」「アイアイ」での実践	ボディパーカッションの動画をインターネット検索し、動きを確認する・30分	ボディパーカッションの様々な動作を復習する・30分
11	イメージサウンド：「幼児のための音楽教育」p.178記載のイメージサウンドと、その他の効果音をピアノで表現する	効果音について調べる・30分	授業で弾いた効果音を復習する・30分
12	総合表現としてのドラムジカ（グループワーク）① 選曲、台本作り	ドラムジカについてインターネットや図書館等から情報を集める・30分	選曲した歌と台本を覚え、練習に備える・30分
13	総合表現としてのドラムジカ（グループワーク）② 小道具製作、練習	小道具製作に必要な材料を準備する・30分	選曲した歌と台本を覚え、発表に備える。授業内で完成しなかった小道具を仕上げる・30分
14	総合表現としてのドラムジカ（グループワーク）③ 練習、発表と鑑賞、考察	発表の流れを完全に把握し、歌や自分のセリフを繰り返し練習する・30分	自身の発表を振り返るとともに、他者の発表からの気づきをまとめる・30分
15	授業全体のまとめと振り返り（小テストによる）	授業全体のまとめと振り返り（小テストによる）	授業で学んだ内容を振り返る・30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21032		健康		2	15	演習	30	前期	2年	今和香子・佐藤裕		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		① 常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		② 子どもの心身の特性を知っている										○
		③ 子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④ 子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
授業概要		幼児期が生涯にわたる健康の基礎ができる重要な時期であることから、領域「健康」のねらい・内容・指導の基本を理解し、心身の健康に関する内容、運動的活動に関する内容、健康な生活習慣に関する内容を具体的に学習する。										
授業の到達目標		・領域「健康」のねらい・内容を理解する。 ・乳幼児の心身の発達に即した健康な身体づくり、生活習慣を身に付けるための援助、安全指導のあり方の学習を通して、子どもの発達に適した援助のための知識や技術を身に付ける。										
単位認定の方法		期末試験	80	%	授業内小テスト		%	授業内活動		%	計	100 %
		期末レポート		%	授業内提出物	20	%	その他		%		
フィードバックの方法		・授業内提出物は返却時に解説する。										
教科書・教材		なし										
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領。講義ごとに必要な資料を配布する。										
履修上の注意等		日常的に、子どもに関するニュースや新聞記事に関心を持ち、今日の問題を把握しておく。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	領域「健康」の講義内容を把握する。『健康』について考える。					「健康」についての自分なりの概念をまとめておく。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
2	乳幼児期の健康の特徴を知る。					自分の過去の経験や身近な乳幼児を想起し、その健康の特徴を自分なりにまとめておく。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
3	領域「健康」のねらい・内容・内容の扱いを理解する。					幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領の「健康」に関する部分を一読する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
4	幼児期の運動技能や運動能力の発達を学ぶ。					自分の経験や身近な乳幼児の行動から、乳幼児の運動技能や運動能力の特徴を考えておく。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
5	乳幼児期の精神状態①知覚・認知の発達について学ぶ。					乳幼児期の知覚・認知の発達についてその特徴を表す例を考えてみる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
6	乳幼児期の精神状態②社会性・パーソナリティの発達について学ぶ。					乳幼児期の社会性・パーソナリティの発達についてその特徴を表す例を考えておく・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			

7	乳幼児期の体力・運動能力を理解し、運動遊びと関連づけて考える。	講義内容「幼児の運動技能や運動能力の発達」を復習する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
8	遊びの特質と援助の要点について理解する。	いろいろな運動遊びを想起し、自分なりに遊びの特質や援助について考えておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
9	幼児期にふさわしい運動会のあり方を理解する。	自分の経験から運動会の実施種目等を想起し、必要な事項をまとめておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
10	子どもの健康状態の把握や事故発生時の応急処置について理解を深める。	自分の経験から乳幼児の健康状態を把握する方法や応急処置の仕方を想起しまとめておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
11	園外保育の意義や園外保育で育つ心身の健康について理解する。	園外保育の意義や育つ心身の健康について、自分の意見をまとめておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
12	基本的生活習慣の形成と過程①食事について学ぶ。	乳幼児期の健康の特徴について復習し、食事との関係を自分なりに考えておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
13	基本的生活習慣の形成と過程②午睡・排泄について学ぶ。	乳幼児期の健康の特徴について復習し、午睡・排泄との関係を自分なりに考えておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
14	基本的生活習慣の形成と過程③衣服の着脱・清潔に関することについて学ぶ。	乳幼児期の健康の特徴について復習し、衣服の着脱・清潔との関係を自分なりに考えておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
15	これまでの講義内容を振り返る。	講義全体を通しての疑問点をまとめておく。 ・30分	ノートの内容を整理し、講義内容を復習する。 ・30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22322		幼児理解と援助		1	15	演習	30	後期	2年	江莉川淳子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							○
	○	○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		保育現場でみられる幼児の行動に関する様々な事例を取り上げて、幼児理解と援助の具体例について考える。										
授業の到達目標		幼児の様々な姿から、その心理と保育者の対応例を基に自分なりの考えをもつ。										
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	10 %	計		100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	30 %	その他	%					
フィードバックの方法		課題(ワーク)は、評価やコメントを書いて返却時に解説する。 成績不良者には、個別指導を行う。										
教科書・教材		必要な資料と課題(ワーク)を毎回配付する。										
参考書・参考文献等		松本峰雄監修『子どもの理解と援助 演習ブック』 『子どもの理解と援助 子ども理解の理論及び方法』編著入江礼子・小原敏郎 萌文書林										
履修上の注意等		保育者としてのイメージをもって受講し、積極的に自分の意見等を述べること。 ファイルを用意し、資料を整理すること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	保育における子ども理解の意義					非認知的能力について調べる 30分以上			授業で学習した内容について、 復習する 30分以上			
2	子どもの理解に基づく養護と教育の一体的展開					配付した資料を熟読する 30分以上			授業で学習した内容について、 復習する 30分以上			
3	子どもに対する共感的理解と保育					ピグマリオン効果について調べる 30分以上			授業で学習した内容について、 復習する 30分以上			
4	子どもの生活と遊び					ホイジンガとカイヨワについて調べる 30分以上			授業で学習した内容について、 復習する 30分以上			
5	保育の人的環境としての保育者と子どもの発達					アタッチメント理論について調べる 30分以上			授業で学習した内容について、 復習する 30分以上			
6	子どもの集団での育ち					バーテンを調べる 30分以上			授業で学習した内容について、 復習する 30分以上			

7	葛藤やつまずき	レヴィンについて調べる 30分以上	授業で学習した内容について、 復習する 30分以上
8	保育の環境の理解と構成	保育所保育指針、幼稚園教育要領の 環境を熟読する 30分以上	授業で学習した内容について、 復習する 30分以上
9	環境の変化や移行	地域型保育事業について調べる 30分以上	授業で学習した内容について、 復習する 30分以上
10	子どもを理解するための観察・記録・省察・評価	心理学における研究法における、参 与観察と非参与観察について調べる 30分以上	授業で学習した内容について、 復習する 30分以上
11	職員間の対話	ブレイクストーミングについて調べる 30分以上	授業で学習した内容について、 復習する 30分以上
12	保護者との情報共有	ガイダンスとチャルディーについて 調べる 30分以上	授業で学習した内容について、 復習する 30分以上
13	発達の課題に応じた援助と関わり	エリクソンについて調べる 30分以上	授業で学習した内容について、 復習する 30分以上
14	特別な配慮を要する子どもの理解と援助	誤信念課題について調べる 30分以上	授業で学習した内容について、 復習する 30分以上
15	発達の連続性と就学への支援	小1プロブレムについて調べる 30分以上	授業で学習した内容について、 復習する 30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22321		教育相談と支援		2	15	講義	30	前期	2年	高橋直樹		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
授業概要		さまざまな問題行動や悩みについて、人間の本能的欲求やカウンセリングマインドをふまえながら、捉え方や対応方法を学ぶ。										
授業の到達目標		問題行動や悩みに対する考え方や個別対応時の配慮事項を身につける。										
単位認定の方法		期末試験	70 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	30 %	その他	%					
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。										
教科書・教材		諸富祥彦・大竹直子『保育園・幼稚園で使えるカウンセリング・テクニック』誠信書房										
参考書・参考文献等		随時プリント等を用いる。										
履修上の注意等		教科書は毎回必ず持参すること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	保育カウンセリングの基本的な考え（基礎編）					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
2	保育カウンセリングの基本的な考え（応用編）					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
3	保育カウンセリングの基本的な考え（実践編）					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
4	保育現場で使えるカウンセリング技法（基礎編）					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
5	保育現場で使えるカウンセリング技法（応用編）					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
6	保育現場で使えるカウンセリング技法（実践編）					授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			

7	子どもにかかわる保育カウンセリング（基礎編）	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
8	子どもにかかわる保育カウンセリング（応用編）	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
9	子どもにかかわる保育カウンセリング（実践編）	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
10	保護者にかかわる保育カウンセリング（基礎編）	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
11	保護者にかかわる保育カウンセリング（応用編）	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
12	保護者にかかわる保育カウンセリング（実践編）	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
13	同僚の保育者と支え合うための保育カウンセリング（基礎編）	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
14	同僚の保育者と支え合うための保育カウンセリング（応用編）	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）
15	同僚の保育者と支え合うための保育カウンセリング（実践編）	授業で学習する範囲について、教科書を一読する（30分以上）	授業で学習した内容について、復習する（30分以上）

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22132		保育内容指導法				1	15	演習	30	後期	2年	島内智秋	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園 教諭	ベビー シッター	編入								
	○	○	○	○									
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力											該当項目 に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○
		②子どもの心身の特性を知っている											○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している											○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											○
授業概要		保育全体の構造を学び、バランスのとれた保育内容が子どもの健やかな成長に繋がることを理解し、子どものためのよりよい指導方法を考える。幼稚園教育要領・保育所保育指針の保育内容をよく理解し、子どもの主体性を育む保育と保育者の関わりの関係性を学ぶ。											
授業の到達目標		・保育の全体構造の理解に基づいて「養護」と「教育」を総合的に捉える。 ・実習の経験をもとに話し合い、子ども理解や保育の計画や方法について理解する。											
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	10 %	計		100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	30 %	その他	%						
フィードバックの方法		振り返りシートに質問・疑問を記入し提出させ、次の股間に解説する。											
教科書・教材		「保育方法・指導法」大豆生田啓友・渡辺英則・森上志朗 編 ミネルヴァ書房 「幼稚園教育要領解説書」文部科学省（言葉（1）で使用したもの） 「保育所保育指針」厚生労働省（保育原理（1）で使用したもの）											
参考書・参考文献等		「幼児教育指導法－保育における援助の方法－」阿部明子・中田カヨ子編著 「保育のプロセスの質」評価スケール イラム・シラージ+デニス・キングストン+エドワード・メルウイッシュ 著 明石書店 ほか											
履修上の注意等		子どもにとって、より良い具体的な指導方法を考え、現場での実践へ備えること。											
回	授 業 計 画						授業時間外学習						
							授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション 幼稚園・保育所・認定こども園の教育・保育の基本 保育内容と保育方法を理解する						1章を事前に一読しておくこと（30分以上）			復習（30分以上）			
2	見える援助と見えない援助・保育における観察と記録 指導方法と教育効果の関連性 乳幼児期の発達と幼稚園教育・保育の方法的特質						子どもに適した援助について考える（30分以上）			講義後、レポートを提出すること 復習（30分以上）			
3	教育・保育の基盤となる子ども理解 発達の違いに合わせた指導方法と援助方法						2章を事前に一読しておくこと（30分以上）			復習（30分以上）			
4	幼児期のふさわしい生活の展開 主体性を育む保育について 領域「健康」について						6章と保育所保育指針解説書（以下解説書）領域「健康」について事前に一読しておくこと（30分以上）			復習（30分以上）			
5	環境を通しての教育①環境を通しての学び いて 領域「環境」につ						3章と解説書領域「環境」について事前に一読しておくこと（30分以上）			復習（30分以上）			
6	環境を通しての教育② 環境構成の実際 遊びの展開に応じた環境の再構成						子どもの周りの環境構成を考える（30分以上）			講義後、レポートを提出すること 復習（30分以上）			

7	遊びを通しての指導① 乳幼児期の発達と遊び 領域「人間関係」について[5歳児のヒミツ] DVD	4章と解説書領域「人間関係」について事前に一読しておくこと(30分以上)	復習(30分以上)
8	遊びを通しての指導② 乳幼児期の遊びの生成と展開 領域「言葉」について	遊びについて考え、解説書領域「言葉」について一読しておくこと(30分以上)	講義後、レポートを提出すること 復習(30分以上)
9	遊びを通しての指導③ 乳幼児期の遊びに対する援助 領域「表現」について	遊びの援助について考え、解説書領域「表現」について一読しておくこと(30分以上)	講義後、レポートを提出すること 復習(30分以上)
10	保育における個と集団の関係	5章を事前に一読しておくこと(30分以上)	復習(30分以上)
11	発達の時期に応じた指導・援助のあり方	7章・8章を一読しておくこと(30分以上)	復習(30分以上)
12	保育の計画の実際(教育課程・長期計画・短期計画)	9章を一読しておくこと 指導案を提出する準備(30分以上)	復習(30分以上)
13	行事を生かした保育の展開	前の時間に指定された行事の子どもにとつての意味を考える(30分以上)	講義後、レポートを提出すること 復習(30分以上)
14	乳幼児教育・保育における家庭・地域連携のあり方 お便り帳の書き方	10章・11章を一読しておくこと(30分以上)	復習(30分以上)
15	保育実践を高める省察・カンファレンスの保育内容 配慮を要する子どもへ	12章を一読しておくこと(30分以上)	復習(30分以上)

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22132		健康の指導法				1	15	演習	30	後期	2年	今和和香子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目												実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入									
	○	○	○	○										
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力												該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける												○
		②子どもの心身の特性を知っている												○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している												○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている												○
授業概要		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる												○
授業の到達目標		領域「健康」での学習をもとに、運動に関する指導、健康な生活の関する指導、安全な生活や態度に関する指導、安全な生活や態度に関する指導など保育現場での状況と照らし合わせて内容を深め、適切な指導法を学習する。												
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	%	授業内活動	40 %	計		100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%							
フィードバックの方法		・グループ活動終了後に解説する。 ・授業内提出物返却時に解説する。												
教科書・教材		なし												
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領。講義ごとに必要な資料を配布する。												
履修上の注意等		日常的に、子どもに関するニュースや新聞記事に関心を持ち、今日的課題を把握しておく。												
回	授 業 計 画							授業時間外学習						
								授業前・時間			授業後・時間			
1	領域「健康」での学習を振り返りながら、「健康の指導法」の講義内容を把握する。							領域「健康」の講義内容を復習しておく。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
2	基本的な生活習慣と過程①（食事）実習全体を振り返り、保育現場の実態を踏まえて、指導上配慮する点等についてグループ別に意見交換をしながら援助方法を理解する。							学外実習での体験を振り返り、グループ発表に備えて内容（食事）をまとめる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
3	基本的な生活習慣と過程②（午睡・排泄）実習全体を振り返り、保育現場の実態を踏まえて、指導上配慮する点等についてグループ別に意見交換をしながら援助方法を理解する。							学外実習での体験を振り返り、グループ発表に備えて内容（午睡・排泄）をまとめる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
4	基本的な生活習慣と過程③（衣服の着脱・清潔に関すること）実習全体を振り返り、保育現場の実態を踏まえて、指導上配慮する点等についてグループ別に意見交換をしながら援助方法を理解する。							学外実習での体験を振り返り、グループ発表に備えて内容（衣服の着脱・清潔に関すること）をまとめる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
5	運動遊びの指導法①幼児期の運動能力を踏まえた指導計画の立案方法を理解する。							幼児期の運動能力の発達について復習する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
6	運動遊びの指導法②運動遊びについての指導案を作成し、指導方法を考える。							保育の指導案作成のポイントを復習する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 活動内容を考える。 ・30分以上			

7	5歳児を想定した模擬保育を行い、スマートフォン・タブレット端末で行動を動画撮影する。	模擬保育の準備をする。 ・30分以上	講義内容をノートにまとめる。 模擬保育の反省をまとめる。 ・30分以上
8	4歳児を想定した模擬保育を行い、スマートフォン・タブレット端末で行動を動画撮影する。	模擬保育の準備をする。 ・30分以上	講義内容をノートにまとめる。 模擬保育の反省をまとめる。 ・30分以上
9	3歳児を想定した模擬保育を行い、スマートフォン・タブレット端末で行動を動画撮影する。	模擬保育の準備をする。 ・30分以上	講義内容をノートにまとめる。 模擬保育の反省をまとめる。 ・30分以上
10	7回から9回で撮影した動画やVR/AR教材、スマートフォン・タブレット端末を適宜活用し、日常の運動遊びにおける事故や安全に対する問題点（危険箇所・危険な行為）について子どもに理解させることができるようにする。	保育場面での安全に対する問題点をまとめておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 改善点等をまとめる。 ・30分以上
11	10回で認識した問題点をどのように改善するかグループごとに提案する。	改善点について発表できるよう確認する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
12	園庭（園外）での遊び・室内での遊びの特質と援助の要点について理解する。	講義内容を自分なりに調べ、予習する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
13	乳幼児期の安全能力の発達を理解しながら、乳幼児に多い不慮の事故等を例にあげ、安全指導について学ぶ。	講義内容を自分なりに調べ、予習する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
14	乳幼児期の健康指導における保育者の役割を認識する。	講義内容を自分なりに調べ、予習する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
15	領域「健康」のねらい・内容・内容の取扱いに触れながら、これまでの講義内容を振り返る。	講義内容を通しての疑問点をまとめておく。 ・30分	ノートの内容を整理し、講義内容を復習する。 ・30分

令和8年度

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22132		表現の指導法				1	15	演習	30	前期	2年	金山茉莉花	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								○
	○	○	○	○									
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力											該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○
		②子どもの心身の特性を知っている											○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している											○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											○
授業概要		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											—
		・様々な方法を用いた表現活動を体験しながら、子どもの豊かな表現を引き出す方法を理解する。 ・他者との関わり合いの中での発見を大切にしながら、適切な指導法を学習する。											
授業の到達目標		・三法令(幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領)における領域「表現」の内容を理解する。 ・具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。											
単位認定の方法		期末試験	— %		授業内小テスト	— %		授業内活動	50 %		計 100 %		
		期末レポート	40 %		授業内提出物	10 %		その他	— %				
フィードバックの方法		・授業時に提出する出席カードにコメントを記入します。 ・翌回の授業時に、出席カードの記述に対するフィードバックを行います。											
教科書・教材		太田光洋[監修]・安氏洋子[編著](2024)『子どもの音楽表現と保育内容表現』保育出版会											
参考書・参考文献等		授業時に随時紹介します。											
履修上の注意等		・各自ファイルを準備し、配布資料を保管しておきましょう。 ・体験活動を行いますので、動きやすい服装で参加するようにしましょう。											
回	授 業 計 画						授業時間外学習						
							授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション 三法令における領域「表現」のねらい及び内容を理解する。						図書館やインターネット等で関連する内容を調べる。(目安として1週間あたり15分以上)			教科書・授業で配布する資料等を参考に復習する。(目安として1週間あたり30分以上)			
2	幼児の発達や学びの過程を理解し、表現活動において育みたい資質・能力について具体的な場面を想定して考える。						〃			〃			
3	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を理解し、幼児の表現における内容を理解する。						〃			〃			
4	現場における事例から幼児の心情・認識・動き等を考察し、幼児が経験し身につけていく表現の内容及指導上の留意点を理解する。						〃			〃			
5	幼児期の表現活動と、小学校の教科との学びの関連性及び連続性について理解する。						〃			〃			
6	インクルーシブ保育における表現活動について理解し、歌を通して具体的な場面を想定し考える。						〃			〃			

7	表現活動及び指導法に関する実践事例について考察する。	〃	〃
8	表現の引き出し方を理解し、具体的な場面を想定し考える。	〃	〃
9	表現活動や遊びを広げるために、簡易的な楽器を用いた方法を学ぶ。	〃	〃
10	表現活動における情報機器及び教材の活用法について事例を通して体験することで保育構想に活用するアイデアを考える。	〃	〃
11	指導案作成の構造を理解し、活動のねらい及び内容に基づいて教材研究を行う。	〃	〃
12	指導案作成についてグループで教材研究を行う。	〃	〃
13	3歳児から5歳児までの音楽表現の指導案を作成する。	〃	〃
14	13回目で作成した指導案について模擬保育を行い、振り返りを通し改善点について考える。	〃	〃
15	これまで学んだ表現教育や表現活動について、レポートを作成し、学生自身が学んだ内容を可視化する。	〃	〃

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員					
K22442		教職実践演習（幼）				2	15	演習	30	後期	2年	江荏川淳子					
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験				
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								○				
	○	○	○	○													
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力											該当項目に○				
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○				
		②子どもの心身の特性を知っている															
		③子どもにとって望ましい環境を理解している															
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											○				
授業概要		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											○				
授業の到達目標		教員の職務についての基本的な事項を理解した上で、教育に対する使命感や情熱を持ち、教員としての資質能力を高めようとする。															
単位認定の方法		期末試験	%				授業内小テスト	%				授業内活動	15	%	計	100	%
		期末レポート	30				%	授業内提出物	55				%	その他			
フィードバックの方法		課題レポート(ワーク)は、評価やコメントを書いて返却する。またグループワークや模擬保育については、発表時に解説する。															
教科書・教材		教科書はなし。必要な資料とワークを毎回配布する。															
参考書・参考文献等		「全社協ブックレット⑧～平成29年3月31日告示～保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領」全国保育士会 編 全国社会福祉協議会 「保育教職実践演習 これまでの学びと保育者への歩み」小櫃智子 矢藤誠慈郎編 若葉社															
履修上の注意等		2年間の総まとめであることを自覚し、保育者としての円滑なスタートができるように、向上心をもって臨むこと。															
回	授 業 計 画							授業時間外学習									
								授業前・時間			授業後・時間						
1	保育職論① 実習を振り返り、事前学習と照らし合わせながら、教員としての使命感や責任感、教育的愛情の重要性について学びを深める。 ワーク1(実習振り返り)							・ワーク1(実習の振り返り)を記入する。 ・30分以上			・グループ資料の作成。 ・30分以上						
2	保育職論② ・グループによる実習後の協議とまとめ。 ・教員の専門性と保育実践の独自性を理解する。 ワーク2(保育者像)							・ワーク2-1を記入する ・30分以上			・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上						
3	保育職論③ ・グループによる実習後の協議とまとめ。 ・保育内容や保育の方法について理解を深める。 ワーク3(保育の形態と諸外国の保育方法)							・諸外国の保育方法を調べる ・30分以上			・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上						
4	保育職論④ 実習報告会において、「子ども理解」「教員の役割」「保育内容」等の理解を深める。 ワーク4(レポート課題)							・各班、発表の練習をする ・30分以上			・課題をまとめる ・30分以上						
5	保育指導① これまでの講義や実習を振り返りながら、指導計画(年間指導計画・月案・週案・日案)の意味と作成上の留意点を確認し、グループ毎に指導案を作成する。 ワーク5(指導案)							・11月の活動案を考える ・30分以上			・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上						
6	保育指導② グループごとに指導案を作成、教材研究を行い指導の展開を工夫する。 ワーク6(グループの模擬保育)							・授業で必要な物の準備や調べ物を する ・30分以上			・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上						

7	保育指導③ グループで立案した指導計画をもとに模擬保育を行い（3歳児対象）、保育内容の研究を深める。 ワーク7・8・9(各グループの模擬保育の評価)	・模擬保育の練習 ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
8	保育指導④ グループで立案した指導計画をもとに模擬保育を行い（4歳児対象）、保育内容の研究を深める。 ワーク7・8・9(各グループの模擬保育の評価)	・模擬保育の練習 ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
9	保育指導⑤ グループで立案した指導計画をもとに模擬保育を行い（5歳児対象）、保育内容の研究を深める。 ワーク7・8・9(各グループの模擬保育の評価)	・模擬保育の練習 ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
10	保育指導⑥ 模擬保育のカンファレンスと振り返り。 ワーク10(各グループの模擬保育の話し合いと評価)	・演目の下調べや準備をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
11	保育運営① 園務運営、学級経営、学級環境づくり、子どもへの対応について理解を深め、学級経営案を作成する ゲストスピーカー ワーク11(レポート課題)	・学級環境作りについてする ・30分以上	・課題をまとめる ・30分以上
12	保育運営② 教職間の連携・協働の重要性、家庭との連携(連絡帳)、保護者への対応について理解を深める。 ワーク12(連絡帳)	・連絡帳について調べる ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
13	現代の教育課題① 特別な支援を要する子どもへの対応について理解を深める。 ゲストスピーカー ワーク13(レポート課題)	・特別な支援を要する子どもについて調べる ・30分以上	・課題をまとめる ・30分以上
14	現代の教育課題② 現代の保育に求められている事柄に関して、論文や書籍を通して子ども理解を深める。	・教育課題について調べる ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
15	保育職論⑤ これまでの講義を踏まえて、今日教員に求められている資質能力、教員割等から、目指す教師像について確立する。 期末レポート(保育者像)	・今までの講義内容を振り返る ・30分以上	・期末レポートを記入する ・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22211		教育制度・課程論		2	15	講義	30	後期	2年	長尾悠里		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	※	○	※								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
授業概要		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業の到達目標		幼児教育の制度に関する基本や望ましい教育課程に関する様々な考え方を、講義や映像の視聴、グループワークを通して学ぶ。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %				
		期末レポート	40 %	授業内提出物	60 %	その他	%					
フィードバックの方法		授業内にフィードバックを行う。										
教科書・教材		文部科学省（2019）『幼児理解に基づく評価』チャイルド本社。										
参考書・参考文献等		文部科学省（2021）『幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開』チャイルド本社。 神長美津子ほか（2018）『教育課程論』光生館。										
履修上の注意等		特になし										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション								OPPAに基づいた省察・15分			
2	教育制度とは何か								OPPAに基づいた省察・15分			
3	幼児教育の制度の変遷								OPPAに基づいた省察・15分			
4	幼児教育の制度の現在①								OPPAに基づいた省察・15分			
5	幼児教育の制度の現在②								OPPAに基づいた省察・15分			
6	教育課程／カリキュラムとは何か								OPPAに基づいた省察・15分			

7	幼児教育の特質と幼児期に育みたい資質・能力		OPPAに基づいた省察・15分
8	評価とは何か		OPPAに基づいた省察・15分
9	教育課程の編成方法		OPPAに基づいた省察・15分
10	カリキュラム・マネジメントの意義と実際		OPPAに基づいた省察・15分
11	教育課程を支える制度		OPPAに基づいた省察・15分
12	幼児教育の方法（理論）		OPPAに基づいた省察・15分
13	幼児教育の方法（実践）		OPPAに基づいた省察・15分
14	子ども理解の方法		OPPAに基づいた省察・15分
15	本授業のまとめ		OPPAに基づいた省察・15分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22352		教育方法・技術		1	15	演習	30	前期	2年	佐藤ゆかり	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
	○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力									該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
授業概要		教育の方法や幼児教育の現場で必要とされる教育の技術を講義する。そして、ICTを活用した教材制作を通して、情報機器あるいは視聴覚教材の選択や活用等について、実践的な技術を体験させる。また、近年取り上げられているプログラミング的思考を育むために、方法の一つであるScratchを体験させる。									
授業の到達目標		これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。									
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	75 %	その他	25 %				
フィードバックの方法		課題作成で困難を感じている部分について翌週に解説したり、「Teams」にてサポートする									
教科書・教材		その都度配布する資料に基づいて行う									
参考書・参考文献等		特になし									
履修上の注意等		欠席した時の授業内容は次の授業までに確認し、自ら課題等を進めること。課題は制作の進捗管理をして期限までに提出すること。									
回	授 業 計 画	授業時間外学習									
		授業前・時間	授業後・時間								
1	ガイダンス (Teamsの操作・評価・注意事項) 教育方法の歩みについて	授業内容について予習 (30分程度)	授業内容について復習 (30分程度)								
2	子どもとメディアについて	授業内容について予習 (30分程度)	授業内容について復習 (30分程度)								
3	PowerPointを使用した簡単なイラスト制作	PowerPointの操作について調べる (30分程度)	授業で作成した作品を完成させる (30分程度)								
4	PowerPointを使用した基本的なスライド制作①	前回の授業で使った操作内容を復習する (30分程度)	授業で作成した作品を完成させる (30分程度)								
5	PowerPointを使用した基本的なスライド制作② アニメーション練習	PowerPointのアニメーション機能について調べる (30分程度)	授業で作成した作品を完成させる (30分程度)								
6	PowerPointを使用した資料作成① (運動会プログラム)	前回の授業で使った操作内容を復習する (30分程度)	授業で作成した作品を完成させる (30分程度)								

7	PowerPointを使用した資料作成②（運動会プログラム）	前回の授業で使った操作内容を復習する(30分程度)	授業で作成した作品を完成させる(30分程度)
8	PowerPointを使用した資料作成③（オリジナル）	オリジナルの資料の設計をする(30分程度)	オリジナルの作品を目指す(30分程度)
9	PowerPointを使用した資料作成④（オリジナル）	オリジナルの作品を目指す(30分程度)	オリジナルの作品を完成させる(30分程度)
10	PowerPointを使用した動画作成①（思い出のフォトムービー）	PowerPointを使用した動画作成について調べる(30分程度)	授業で作成した作品を完成させる(30分程度)
11	PowerPointを使用した動画作成②（アンパンマン・絵描き歌）	前回の授業で使った操作内容を復習する(30分程度)	授業で作成した作品を完成させる(30分程度)
12	PowerPointを使用した動画作成③（オリジナル思い出動画）	オリジナルの動画の設計をする(30分程度)	オリジナルの作品を目指す(30分程度)
13	PowerPointを使用した動画作成④（オリジナル思い出動画）	オリジナルの作品を完成させる(30分程度)	オリジナルの作品を完成させる(30分程度)
14	Scratch体験①	Scratchについて調べる(30分程度)	授業内容について復習(30分程度)
15	Scratch体験②	授業内容について予習(30分程度)	授業内容について復習(30分程度)

令和8年度

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22453		教育実習		4	－	実習		集中	2年	教職課程委員会		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○		○									
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		保育現場において、授業で学んだ専門知識や技能を総合的に実践し、子どもとのふれあいを通じて幼稚園教諭としての職業を体験的に学習する。										
授業の到達目標		養成校で学んだ幼児教育に関する知識をもとに、幼稚園や幼保連携型認定こども園において保育を実践し、保育者としての使命と責任を自覚し、資質を高める。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	60	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	40	%	その他	%				
フィードバックの方法		実習先からの評価を伝える。実習録の評価を行い返却する。										
教科書・教材		幼稚園教育要領、必要に応じて資料を配付する。										
参考書・参考文献等		「幼稚園・保育所・施設実習 実習の手引き」 柴田学園大学短期大学部 幼稚園教諭課程委員会・保育士課程委員会編										
履修上の注意等		学外実習の規定を遵守し、実習の意義・目的・内容を十分に理解した上で、事前準備をしっかり整え実習に臨むこと。また、教育実習事前事後指導と科目連動していることに注意する。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	【教育実習】4単位 ○実習期間：令和8年9月7日～9月18日（10日間） ※1年次令和7年11月10日～11月14日（5日間）実習済 ○実習形態：①参加実習、②指導実習を中心に実施する。 ①参加実習 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加 ②指導実習 実習生の指導計画と準備に基づく主体的な保育活動の実践 ○実習内容 1. 幼稚園教育の特性と役割 （1）幼児期の生活と遊び、幼児の発達の姿 （2）人格形成の基礎を培うこと （3）環境を通して行う保育の理解											
2												
3												
4												
5												
6												

7	2. 観察にもとづく幼児教育の理解
	(1) 子どもの心身の状態や活動の観察
8	(2) 教師の援助や関わり
	(3) 幼稚園の生活の流れや展開の把握
9	3. 家庭や地域社会との連携
	(1) 家庭との緊密な連携と子育て支援の理解
	(2) 教師の職務や社会的使命についての理解
10	(3) 職業倫理を具体的に学び理解を深める
	4. 指導計画の作成・実践・省察・記録・評価
11	(1) カリキュラムに基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解
	(2) 作成した指導計画に基づく保育の実践と評価
12	5. 自己の課題の明確化
13	※実習期間中に幼稚園教諭課程委員会の委員が実習先を訪問し、学生との面談を通して指導・助言をする。
14	
15	

令和8年度

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22452		教育実習事前事後指導		1		演習	30	前期	2年	島内智秋・高橋直樹		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園 教諭	ベビー シッター	編入							○
	○		○									
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目 に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		1年次に続く2年間で計8回の授業であり、2年前期は個人やグループで調べ学習をおこない、グループで発表する。授業回数は2回だが、開講日時は追って連絡する。										
授業の到達目標		本実習で特に学びたいこと（着眼点）を明確にする。										
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	25	%		計 100 %
		期末レポート	50 %		授業内提出物	25 %		その他	%			
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。										
教科書・教材		随時プリント等を用いる。										
参考書・参考文献等		随時プリント等を用いる。										
履修上の注意等		授業回数は2回だが、開講日時は追って連絡する。 出欠回数は2年間通して計算される。 単位認定は2年後期におこなう。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	(事前指導) 実習で特に学びたいことについて調べる（グループ・ワーク） ※1グループ4～5名					左記に関することをネット検索等で調べる（30分以上）			グループで調べたことをまとめる（30分以上）			
2	(事前指導) 実習で特に学びたいことについて発表する（グループ・ワーク）					発表の準備をする（30分以上）			他の発表も参考にして学びたいことを整理する（30分以上）			
3												
4												
5												
6												

7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員						
K22452		教育実習事前事後指導		1		演習	30	後期	2年	島内智秋・高橋直樹						
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験				
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							○				
	○		○													
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○				
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○				
		②子どもの心身の特性を知っている										○				
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○				
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○				
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○				
授業概要		1年後期および2年前期に続く授業であり、2年後期は幼稚園教諭としての自己評価を行う。 授業回数は2回だが、開講日時は追って連絡する。														
授業の到達目標		「履修カルテ」の作成を通してこれまでの学びを確認し、今後の課題を明確にする。														
単位認定の方法		期末試験		%		授業内小テスト		%		授業内活動		25	%	計	100	%
		期末レポート		50		%		授業内提出物		25		%				
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。														
教科書・教材		随時プリント等を用いる。														
参考書・参考文献等		随時プリント等を用いる。														
履修上の注意等		授業回数は2回だが、開講日時は追って連絡する。 出欠回数は2年間通して計算される。 単位認定は2年後期におこなう。														
回	授 業 計 画		授業時間外学習													
			授業前・時間	授業後・時間												
1	(事後指導) 履修カルテを作成する		幼稚園教諭課程で身につけたことを振り返る (30分以上)	今後の課題を明確にする (30分以上)												
2	(事後指導) 実習の振り返りと今後の課題について話し合う (グループ・ワーク)		幼稚園教諭課程で身につけたことを振り返る (30分以上)	今後の課題に取り組む (30分以上)												
3																
4																
5																
6																

7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K23032		子どもと造形(1)				1	15	演習	30	前期	2年	工藤千華	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								
	○	※		※									
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力											該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○
		②子どもの心身の特性を知っている											○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している											○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要		造形表現の実践や素材体験を通して、幼児教育に携わる保育者として必要な基礎的資質・能力を育成する。多様な素材の特性や表現技法を指導し、主体的に創作に取り組む態度を養うとともに、自ら工夫して造形活動を展開する力を育てる。											
授業の到達目標		造形表現の実践・素材体験を通して、造形素材の材質や特性、適切な扱い方について理解する。子どもの造形能力における一般的な発達過程や個人差のあり方について学び、その理解を基に、発達段階を踏まえ教材・題材を自ら工夫して構想できるようになる。											
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	50	%		計	100 %
		期末レポート	%		授業内提出物	50 %		その他	%				
フィードバックの方法		授業で製作した成果物は鑑賞する時間を設ける。											
教科書・教材		幼稚園教育要領解説（フレーベル館）、保育所保育指針解説（フレーベル館）											
参考書・参考文献等		深谷ベルタ「体験が感性を育む造形遊び」（風鳴社）/きむらゆういち「きむら式おもしろ造形タイム」（チャイルド本社）											
履修上の注意等		提出物は必ず提出すること。制作時、衣服が汚れる場合があります。											
回	授 業 計 画						授業時間外学習						
							授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション：子どもにとっての造形の意義						幼稚園教育要領の「表現」を熟読しておく。30分			授業の内容を振り返り、整理する。20分			
2	①色紙づくりを通して色について考えよう 混色体験						絵の具の準備。10分			アイディアの収集。30分			
3	①色紙づくりを通して色について考えよう 色紙制作、色の重なりと表現効果						材料・用具の準備。15分			授業内での制作時間が足りない場合、制作する。30分			
4	①色紙づくりからの発展「コラージュで絵本制作」 コラージュ構成						絵本づくりの材料準備15分			授業内での制作時間が足りない場合、制作する。30分			
5	①色紙づくりからの発展「コラージュで絵本制作」 物語表現						絵本づくりの材料準備15分			授業内での制作時間が足りない場合、制作する。30分			
6	ミニ絵本の完成、鑑賞会						発表の準備。15分			振り返りをまとめる。30分			

7	②身近な素材による教材研究 紙で遊ぼう、紙粘土製作	必要な用具の準備。10分	材料・後片付け。10分
8	②身近な素材による教材研究 粘土で遊ぼう、小麦粉粘土製作	紙粘土を使った参考作品を調査。30分	振り返りをまとめる。30分
9	③身近な素材による教材研究 ダンボール造形	必要な用具の準備。10分	材料・後片付け。10分
10	③身近な素材による教材研究 ダンボールを使った創作活動	必要な用具の準備。10分	次の授業に向けてアイデアをまとめる。30分
11	③身近な素材による教材研究 遊びへの展開	アイデアの収集。20分	作品が完成していない場合は完成させる。30分
12	④造形あそびの立案(春・夏)	アイデアの収集。20分	次の授業に向けてアイデアをまとめる。30分
13	④造形あそびの立案(春・夏) 発達段階と援助計画	必要な用具の準備。15分	実践に向けての準備が終わっていない場合は準備を行う。30分
14	④造形あそびの立案(春・夏) 造形遊びの展開	必要な用具の準備。15分	実践に向けての準備が終わっていない場合は準備を行う。30分
15	④造形あそびの立案(春・夏)実践を行う	アイデアの収集。用具の準備。30分	授業のまとめ。

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K23032		子どもと造形(2)				1	15	演習	30	後期	2年	工藤千華	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								
	○	※		※									
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力											該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○
		②子どもの心身の特性を知っている											○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している											○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											○
授業概要		「描く」「作る」「使う」などの造形表現を取り入れ、制作を通して表現の楽しさや創造する喜びを体験できるよう指導する。また、子どもの生活経験や多様な表現活動と造形表現を結びつける遊びの在り方について解説し、実践を通して保育に生かす視点を育成する。											
授業の到達目標		様々な素材を使った造形活動を通して、子どもの造形能力における一般的な発達過程や個人差について理解ができるようになる。また、共同制作を通して他者と協力して作品を作ることや他者の作品の良さを認め励ます評価の在り方を身につける。											
単位認定の方法		期末試験			%	授業内小テスト			%	授業内活動	40	%	計 100 %
		期末レポート			%	授業内提出物	40		%	その他	20	%	
フィードバックの方法		授業で作った成果物は鑑賞する時間を設ける。											
教科書・教材		幼稚園教育要領解説(フレーベル館)、保育所保育指針解説(フレーベル館)											
参考書・参考文献等		北沢昌代・畠山智宏・中村光絵「子どもの造形表現ワークシートで学ぶ」(開成出版)/きむらゆういち「きむら式おもしろ造形タイム」(チャイルド本社)											
履修上の注意等		提出物は期日を守って完成させること。製作時、衣服が汚れる場合があります。											
回								授業時間外学習					
								授業前・時間			授業後・時間		
1	①身近な素材による教材研究 素材の理解と線による表現							幼稚園教育要領の「表現」を熟読しておく。30分			アイディアの収集。20分		
2	①身近な素材による教材研究 ひもを使った作品作り							アイディアの収集。材料・用具の準備。30分			授業内での制作時間が足りない場合、制作する。30分		
3	②フロッタージュ(こすり出し)作品作り							材料・用具の準備。15分			授業内での制作時間が足りない場合、制作する。30分		
4	③身近な素材による教材研究 スチレン版画							材料準備。15分			アイディアの収集。30分		
5	③身近な素材による教材研究 スチレン版画、共同制作							材料準備。15分			振り返りをまとめる。30分		
6	④身近な素材による教材研究 牛乳パックを使っておもちゃ作り							資料等を調査してアイディアの収集。30分			アイディア、道具の収集 30分		

7	④身近な素材による教材研究 回転の仕組みを取り入れた制作	必要な用具の準備。10分	授業内での制作時間が足りない場合、制作する。
8	④身近な素材による教材研究 完成、作品の鑑賞	必要な道具の準備。20分	振り返りをまとめる。30分
9	⑤身近な素材による教材研究 風船を使って張り子の置物づくり	インターネット等を調査してアイディアの収集。30分	授業内での制作時間が足りない場合、制作する。
10	⑥ビニールを使って衣装製作	インターネット等を調査してアイディアの収集。必要な用具の準備。30分	衣装づくりについての計画書の作成。30分
11	⑥ファッションショーに向けてテーマ決め、コンセプト作成、BGMの検討	インターネット等を調査してアイディアの収集。必要な用具の準備。30分	衣装づくりについての計画書の作成。30分
12	⑥ファッションショー テーマ、コンセプト、衣装の発表	アイディアの収集。20分	振り返りをまとめる。30分
13	⑦共同オブジェ製作 コンセプトを決める	アイディアの収集。20分	共同オブジェについての計画書の作成。30分
14	⑦共同オブジェ製作 コンセプト、下絵をもとに作品制作	アイディアの収集、必要な用具の準備。20分	次の授業に向けてアイディアをまとめる。30分
15	⑦共同オブジェの発表 作品の制作 発表	必要な用具の準備。30分。	振り返りをまとめる。30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22011		子ども家庭支援論		2	15	講義	30	前期	2年	安川由貴子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							無
	○	○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		保育士は、保護者への子育ての問題や課題に対しての支援と、地域の子育て家庭への支援が必要とされている。授業では、子ども家庭支援の必要性を認識し、その意義や目的を学ぶ。また、保育の専門性を活かした家庭支援のあり方について学び、それを支える社会資源や施策等の子育て支援体制を踏まえ、具体的な支援方法について理解を深める。そして、これからの子ども家庭支援のあり方について考える。										
授業の到達目標		1. 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解し、説明できる。 2. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解し、考察できる。 3. 子育て家庭に対する支援の体制について理解し、説明できる。 4. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状・課題について理解し、考察できる。										
単位認定の方法		期末試験	40	%	授業内小テスト		%	授業内活動	30	%	計	100 %
		期末レポート		%	授業内提出物	30	%	その他		%		
フィードバックの方法		コメント・ペーパーの内容や質問は授業内に適宜共有し、学びを深める手立てとする。グループワークを行った際には、発表時に解説する。										
教科書・教材		レジュメ・資料を配付する。厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館、平成30年。										
参考書・参考文献等		授業中に適宜紹介する。										
履修上の注意等		社会に広く目を向け、子ども家庭支援を身近なこととして捉えて授業に臨んでください。また、グループワークの機会も適宜取り入れるので、積極的な参加を期待します。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	子ども家庭支援の意義と役割（１）子ども家庭支援の意義と必要性					テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）			復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）			
2	子ども家庭支援の意義と役割（２）子ども家庭支援の目的と機能					テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）			復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）			
3	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（１）保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義					テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）			復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）			
4	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（２）子どもの育ちの喜びの共有					テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）			復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）			
5	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（３）保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援					テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）			復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）			
6	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（４）保育士に求められる基本的態度（受容的関わり・自己決定の尊重・秘密保持等）					テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）			復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）			

7	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（5）家庭の状況に応じた支援	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
8	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（6）地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
9	子育て家庭に対する支援の体制（1）子育て家庭の福祉を図るための社会資源	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
10	子育て家庭に対する支援の体制（2）子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努め、弘前市の子育て支援の取り組みについて調べ、ミニレポートを作成すること。（90分）
11	多様な支援の展開と関係機関との連携（1）子ども家庭支援の内容と対象	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
12	多様な支援の展開と関係機関との連携（2）保育所等を利用する子ども家庭への支援	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
13	多様な支援の展開と関係機関との連携（3）地域の子育て家庭への支援	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
14	多様な支援の展開と関係機関との連携（4）要保護児童及びその家庭に対する支援	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
15	多様な支援の展開と関係機関との連携（5）子ども家庭支援に関する現状と課題	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22032		社会的養護(2)		1	15	演習	30	前期	2年	佐藤優輝		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	○			○							
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		社会的養護の分野は児童養護施設や乳児院だけでなく、里親や里親ファミリーホーム、児童心理治療施設や児童自立支援施設など幅が広い。様々な事例についてグループ内で意見交換し発表すること、また発表された内容に解説を加えることで、事例を多角的に捉える視点を養う。										
授業の到達目標		社会的養護における様々な困難ケースについての対応や考え方を理解する。										
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	40	%		
		期末レポート	30 %		授業内提出物	%		その他	30	%		
フィードバックの方法		グループで発表した内容に対し、口頭で解説する。必要に応じ参考文献等を示す。レポートや課題については評価基準を解説する。										
教科書・教材		児童の福祉を支える〈演習〉社会的養護II 吉田真理 萌文書林										
参考書・参考文献等												
履修上の注意等		グループで話し合う機会が多いので積極的に参加してほしい。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	子どもの理解について											
2	権利擁護について					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)						
3	治療的支援・養育について					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)						
4	自立支援					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)						
5	事例検討(アタッチメント)					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)						
6	事例検討(被虐待児対応)					事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)						

7	事例検討(被虐待児対応)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
8	事例検討(発達障がい)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
9	事例検討(自立支援)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
10	事例検討(アフターケア)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
11	事例検討(家庭養護)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
12	事例検討(地域連携)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
13	事例検討(家庭養護)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
14	事例検討(自立支援計画、記録作成)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
15	家庭的養護と地域分散化の推進		

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22032		子育て支援		1	15	演習	30	前期	2年	江莉川淳子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							○
	○	○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
授業概要		保育者が行う子育て支援の役割や特徴を知り、保護者支援の実際からその対応の意義や内容・方法などの基本をよく理解できるように、演習課題の中から学びを深める。										
授業の到達目標		子育て支援の意義と目的、理念について理解する。また、支援の方法及び技術を様々な事例を通して具体的に理解を深めることで、専門職にふさわしい考え方や姿勢を身につける。										
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	40 %	授業内活動	%	計 100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%					
フィードバックの方法		課題(ワーク)は、評価やコメントを書いて返却時に解説する。										
教科書・教材		教科書はなし。必要な資料と課題(ワーク)を毎回配布する。										
参考書・参考文献等		○「学ぶ・わかる・みえるシリーズ保育と現代社会 演習・保育と子育て支援」編集小原敏郎 橋本好市 三浦主博 株式会社みらい ○「実践・保育相談支援」青木紀久代 編著 株式会社みらい ○「保育相談支援」大嶋恭二・金子恵美編著 建帛社 ○「保護者支援・対応のワークとトレーニング」新保庄三 田中和子 編著 ひとなる書房 ○「子育て支援」二宮祐子著者、萌文書林										
履修上の注意等		・保育者になったことをイメージして受講すること。 ・グループワークや調べ学習、ロールプレイなど適宜取り入れるため、積極的に受講すること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	子育て支援とは 子育て支援の制度的基盤について ・ワーク1「夜型の生活リズムの家庭」					・保育所保育指針「第4章子育て支援」を通読する ・30分以上			・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上			
2	子育て支援の意義 子育て支援が求められる社会的背景 ・ワーク2「おむつ外しに悩む保護者」					・子どもの身辺自立とその援助方法について調べる ・30分以上			・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上			
3	子育て支援の基本的価値・倫理 子どもの最善の利益の尊重 ・ワーク3「気になる子と気にならない保護者」					・「気になる子」について、障害児保育について調べる ・30分以上			・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上			
4	子育て支援の基本的姿勢 家庭や地域の社会資源との連携 ・ワーク4「貧困家庭」					・「貧困家庭」について調べる ・30分以上			・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上			
5	子育て支援の基本的技術 子育てのプロセス ・ワーク5「父子家庭」					・「ソーシャルワーク」について調べる ・30分以上			・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上			
6	園内・園外との連携と社会資源 ・ワーク6「虐待傾向のある母子家庭」					・「虐待」の種類やその特徴を調べる ・30分以上			・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上			

7	記録・評価・研修 ・ワーク7「ステップファミリー」	・様々な家族の形態や家族問題について調べる ・30分以上	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上
8	日常会話を活用した子育て支援 ・ワーク8「かみつきによるトラブルと対応」	・コミュニケーション技法の復習 ・30分以上	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上
9	文書を活用した子育て支援 ・ワーク9「アレルギー児への医療などの対応」	・子どものアレルギーについて調べる ・30分以上	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上
10	行事などを活用した子育て支援 ・ワーク10「日本語を母国としない保護者達」	・外国人の保護者についてテキストを通読する ・30分以上	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上
11	環境を活用した子育て支援 環境をととした子育て支援の意義と方法 ・ワーク11「新入園児の保護者」	・子育て支援における「環境」について調べる ・30分以上	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上
12	地域子育て支援拠点における支援 地域子育て支援拠点とは ・ワーク12「ひろばデビューの専業主婦」	・地元の地域子育て支援拠点について調べる ・30分以上	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上
13	入所施設における子育て支援 入所施設における支援の方法 ・ワーク13「子どもと向き合うことに困難を感じる保護者」	・入所型児童福祉施設について調べる ・30分以上	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上
14	通所施設における子育て支援 通所施設を利用する保護者の傾向と支援方法 ・ワーク14「子どもの育ちに不安と焦りを感じる保護者」	・児童発達支援センターについて調べる ・30分以上	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上
15	保育者に求められる子育て支援	・今までのワークやテキストを振り返え、今後の課題を見いだす ・30分以上	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上

令和8年度

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22043		保育実習(2)		2	-	実習		前期	2年	保育士課程委員会	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						○
	○	○		○							
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力									該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									○
授業概要		保育現場において、授業で学んだ専門知識や技能を総合的に実践し、子どもとのふれあいを通じて保育士の職業を体験的に学習する。									
授業の到達目標		授業で学んだ知識や技術を基礎とし、観察・参加実習を通して①保育所の役割と機能②観察や子どもとの関わりを通しての子ども理解③子どもの保育及び保護者への支援④保育の計画、観察、記録及び自己評価⑤保育士の役割と職業倫理などを具体的に理解する。									
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	60	%	計 100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	40	%	その他	%			
フィードバックの方法		実習先からの評価を伝える。実習録の評価を行い返却する。									
教科書・教材		なし									
参考書・参考文献等		保育所保育指針解説（厚生労働省編）、教育・保育実習と実習指導（光生館）、保育・教育実習（ミネルヴァ書房）、必要に応じて資料を配布。									
履修上の注意等		保育に関する専門科目の講義内容と関連させながら知識を深めること。									
回	授 業 計 画					授業時間外学習					
						授業前・時間		授業後・時間			
1	【保育所実習】2単位 ○実習期間：令和8年8月17日～8月31日（13日間） ○実習形態：①参加実習、②指導実習を中心に実施する。 ①参加実習 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加 ②指導実習 実習生の指導計画と準備に基づく主体的な保育活動の実践 ○実習内容 1. 保育所の役割や機能の具体的展開 （1）養護と教育が一体となって行われる保育 （2）保育所の社会的役割と責任 2. 観察にもとづく保育の理解										
2											
3											
4											
5											
6											

7	(1) 子どもの心身の状態や活動の観察
	(2) 保育士等の援助や関わり
8	(3) 保育所の生活の流れや展開の把握
	3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携
9	(1) 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育
	(2) 入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援
10	(3) 関係機関や地域社会との連携・協働
	4. 指導計画の作成・実践・省察・記録・評価
11	(1) 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解
	(2) 作成した指導計画に基づく保育の実践と評価
12	5. 保育士の業務と職業倫理
	(1) 多様な保育の展開と保育士の業務
13	(2) 保育士の職業倫理
	6. 自己の課題の明確化
14	
15	※実習期間中に保育士課程委員会の委員が実習先を訪問し、学生との面談を通して指導・助言をする。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22042		保育実習指導(2)		1	15	演習	30	前期	2年	佐々木美子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							○
	○	○		○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		保育実習（１）での体験を振り返りながら、自己の課題を明確にしたうえで、保育実践に向けて具体的な指導計画の作成や保育士の専門性と職業倫理について学習する。										
授業の到達目標		保育実習（１）での自己課題を明確にしたうえで、保育について総合的に学び、保育者としての役割を理解する。保育実習（１）の体験を振り返りながら、実習の意義と目的の理解を深化させ、さらには保育士理解・保育内容を総合的に学ぶ。										
単位認定の方法		期末試験	40 %	授業内小テスト	%	授業内活動	30 %	計 100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	30 %	その他	%					
フィードバックの方法		課題レポートは添削、または次回授業で解説する										
教科書・教材		なし										
参考書・参考文献等		保育所保育指針解説（厚生労働省編）、教育・保育実習と実習指導（光生館）、保育・教育実習（ミネルヴァ書房）、必要に応じて資料を配布。										
履修上の注意等		保育に関する専門科目の講義内容と関連させながら知識を深めること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	保育実習(1)の体験を振り返り、自らの課題を明確にする①					施設実習の振り返りをしてまとめる 30分以上			講義内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上			
2	保育実習(1)の体験を振り返り、自らの課題を明確にする②					施設実習の振り返り 発表の準備をする 30分以上			授業内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上			
3	実習の意義・目的・内容の理解 実習の形態（観察実習・参加実習・部分実習・全日実習）について具体的に学ぶ					実習の形態について調べる 30分以上			講義内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上			
4	子どもの最善の利益を考慮した保育について考える 保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ					保育・教育観察実習録の書き方を 振り返る 30分以上			授業内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上			
5	実習日誌・実習記録の方法① 記録の意義を理解し、記録のとり方について具体的に学ぶ					保育・教育観察実習録の書き方を 振り返る 30分以上			授業内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上			
6	実習日誌・実習記録の方法② 子どもの姿を読み取り、記録と感想の書き方を学ぶ					最善の利益について調べてまとめる 職業倫理について調べてまとめる 30分以上			講義内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上			

7	実習先に提出する必要書類の作成や事務手続きの方法を知る 事前訪問・電話のかけ方について	書類作成に必要な準備をする 30分以上	課題に取り組む 30分以上
8	実習先に提出する必要書類の作成（保育実習・教育実習） 実習園とのオリエンテーションについて	実習生カード下書き、必要な準備をする 30分以上	授業内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上
9	指導計画作成の意義 指導案の必要性を理解し、活動のねらい・内容・配慮点などを中心に立案方法を学ぶ	活動のねらい・内容・配慮とは何か調べる 30分以上	講義内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上
10	指導計画作成の実際① 年齢に適した指導案を作成する（部分実習の指導案作成）	部分実習案を考える 30分以上	講義内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上
11	指導計画作成の実際② 年齢に適した指導案を作成する（全日実習の指導案作成）	全日指導案の流れを調べる 30分以上	課題に取り組む 30分以上
12	指導計画作成の実際③ 年齢に適した指導案を作成する（全日実習の指導案作成） 実習に向けての手作り教材 発表 ①	全日指導案の流れを考える 手作り教材作成 30分以上	課題に取り組む 30分以上
13	指導計画作成の実際④ 指導案作成について質疑応答をし、さらに理解を深める 実習に向けての手作り教材 発表 ②	指導案作成にあたっての疑問点をまとめる 手作り教材作成 30分以上	課題に取り組む 30分以上
14	実習中の心構えを具体的に理解し、実習に対しての目的意識を高める 実習に向けての手作り教材 発表 ③	実習の心構えについて調べる 手作り教材作成 30分以上	課題に取り組む 30分以上
15	実習後には振り返りを行い、今後の課題を明確にする	実習のマナーや実習後の振り返りについて調べる 30分以上	講義内容をノートにまとめる 30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
K23032		ピアノ表現(1)		1	15	演習	30	前期	2年	工藤里砂子				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験		
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							○		
	○	○	○	○										
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○		
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○		
		②子どもの心身の特性を知っている												
		③子どもにとって望ましい環境を理解している												
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○		
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる												
授業概要		毎回の課題曲を譜読み・練習することでピアノ伴奏及び弾き歌いの技術を学ぶ。個人の習熟度や経験により、必要に応じてそれぞれ課題を設定する場合もある。												
授業の到達目標		幼児教育・保育現場における音楽活動は、子どもの感性や表現力を豊かにするために不可欠である。その音楽活動の要である弾き歌いの技術を身に付ける。ピアノ基礎(1)(2)で習得したピアノ演奏の基礎知識や技術をさらに発展させ、スタンダードな子どもの歌を中心に弾き歌いを学ぶ。中・上級者は保育者に必要なより高度な技術を身に付ける。												
単位認定の方法		期末試験		50 %		授業内小テスト		%		授業内活動		40 %		計 100 %
		期末レポート		%		授業内提出物		10 %		その他		%		
フィードバックの方法		毎時間のレッスンにおいて、各自の課題点を指摘・指導する。その上で「課題曲一覧表」を用い各曲の合否を明確に伝える。また、練習した曲や内容を記入した「レッスン記録ノート」を提出してもらい、確認・返却する。												
教科書・教材		「歌唱教材伴奏法」教育芸術社 「幼児のための音楽教育」教育芸術社												
参考書・参考文献等		適宜、楽譜を配布する												
履修上の注意等		・授業で学んだ曲は確実に弾けるように、毎日の練習を怠らない ・「レッスン記録ノート」に練習した曲、及び学びや気付きについて記録し、必ず担当教員の印を受ける ・各自ファイルなどを用意し、配布楽譜を保管する												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間			授業後・時間					
1	オリエンテーション 移調奏について ピアノ基礎(1)(2)の復習					ピアノ基礎(1)(2)で学んだピアノ技術や歌唱教材を振り返る・30分			移調奏について復習する・30分					
2	【初級】テキスト47番(p. 37) 【中・上級】テキスト68番(p. 67) 【弾き歌い曲】「めだかの学校」(教科書p. 34/配布楽譜) 「朝のうた」(教科書p. 36)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分					
3	【共通】テキスト48番(p. 41)移調奏 【弾き歌い曲】「おかえりのうた」(教科書p. 39) 「こいのぼり」(教科書p. 43)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分					
4	【共通】各調のカデンツ テキストp. 44-45 【弾き歌い曲】「あくしゅでこんにちば」(教科書p. 47) 「おべんとう」(教科書p. 48)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分					
5	【初級】テキスト50番(p. 45) 【中・上級】テキスト70番(p. 69) 【弾き歌い曲】「かたつむり」(教科書p. 51) 「むすんでひらいて」(教科書p. 52)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分					
6	【共通】テキスト52番、53番(p. 50) 【弾き歌い曲】「とけいのうた」(教科書p. 54) 「山の音楽家」(教科書p. 55)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分					

7	【初級】テキスト57番(p.56) 【中・上級】テキスト73番(p.73) 【弾き歌い曲】「あめふりくまのこ」(教科書p.56-57/配布楽譜)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
8	【初級】テキスト58番(p.57) 【中・上級】テキスト77番(p.79) 【弾き歌い曲】「たなばたさま」(教科書p.59) 「おつかいありさん」(教科書p.61)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
9	【初級】テキスト59番(p.58) 【中・上級】テキスト79番(p.81) 【弾き歌い曲】「シャボン玉」(教科書p.62) 「こぶためきつねこ」(教科書p.67)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
10	【初級】テキスト61番(p.61) 【中・上級】テキスト86番(p.88) 【弾き歌い曲】「アイアイ」(教科書p.69) 「手をたたきましょう」(教科書p.71)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
11	【初級】テキスト65番(p.65) 【中・上級】テキスト89番(p.90-91) 【弾き歌い曲】「とんぼのめがね」(教科書p.75) 「とんでったバナナ」(教科書p.77)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
12	【初級】重音 テキスト基本練習(p.66) 【中・上級】テキスト90番(p.92) 【弾き歌い曲】「ピクニック」(教科書p.78)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
13	【初級】テキスト70番(p.69) 【中・上級】伴奏付け テキストp.15,17,19 【弾き歌い曲】「Happy Birthday To You」(教科書p.79/配布楽譜) 「タヤけこやけ」(教科書p.84)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
14	【初級】テキスト71番(p.70) 【中・上級】伴奏付け テキストp.21,23,25 【弾き歌い曲】「バスごっこ」(教科書p.85) 「やきいもグーチャーバー」(教科書p.86)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
15	実技試験に向けての練習と総まとめ	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K23032		ピアノ表現(2)		1	15	演習	30	後期	2年	工藤里砂子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							○
	○	○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		毎回の課題曲を譜読み・練習することでピアノ伴奏及び弾き歌いの技術を学ぶ。個人の習熟度や経験により、必要に応じてそれぞれ課題を設定する場合もある。										
授業の到達目標		幼児教育・保育現場における音楽活動は、子どもの感性や表現力を豊かにするために不可欠である。その音楽活動の要である弾き歌いの技術を身に付ける。ピアノ基礎(1)(2)で習得したピアノ演奏の基礎知識や技術をさらに発展させ、スタンダードな子どもの歌を中心に弾き歌いを学ぶ。中・上級者は保育者に必要なより高度な技術を身に付ける。										
単位認定の方法		期末試験	50 %		授業内小テスト			%	授業内活動	40 %		計 100 %
		期末レポート			%	授業内提出物	10 %		その他			
フィードバックの方法		毎時間のレッスンにおいて、各自の課題点を指摘・指導する。その上で「課題曲一覧表」を用い各曲の可否を明確に伝える。また、練習した曲や内容を記入した「レッスン記録ノート」を提出してもらい、確認・返却する。										
教科書・教材		「歌唱教材伴奏法」教育芸術社 「幼児のための音楽教育」教育芸術社										
参考書・参考文献等		適宜、楽譜を配布する										
履修上の注意等		・授業で学んだ曲は確実に弾けるように、毎日の練習を怠らない ・「レッスン記録ノート」に練習した曲、及び学びや気付きについて記録し、必ず担当教員の印を受ける ・各自ファイルなどを用意し、配布楽譜を保管する										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	【初級】テキストp.72基本練習、72番 【中・上級】伴奏付け テキストp.38 【弾き歌い曲】「ありさんのおはなし」(教科書p.83) 「バスごっこ」(教科書p.85)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分			
2	【初級】テキスト74番(p.74) 【中・上級】伴奏付け テキストp.39 【弾き歌い曲】「おもちゃのチャチャチャ」(教科書p.87) 「きのこ」(教科書p.88-89)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分			
3	【初級】テキスト76番(p.76) 【中・上級】移調奏 テキストp.43 【弾き歌い曲】「どんぐりころころ」(教科書p.91/配布楽譜) 「まつぼっくり」(教科書p.94)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分			
4	【初級】テキストp.78 基本練習 【中・上級】伴奏付け テキストp.51 【弾き歌い曲】「ジングルベル」(教科書p.99) 「森のくまさん」(教科書p.100)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分			
5	【初級】テキスト78番(p.80) 【中・上級】伴奏付け テキストp.53 【弾き歌い曲】「雪」(教科書p.101) 「幸せなら手をたたこう」(教科書p.102)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分			
6	【初級】テキスト81番(p.83) 【中・上級】伴奏付け テキストp.55 【弾き歌い曲】「おんまはみんな」(教科書p.103) 「あわてん坊のサンタクロース」(教科書p.104-105/配布楽譜)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分			

7	【初級】テキスト86番(p.88) 【中・上級】伴奏付け テキストp.63 【弾き歌い曲】「お正月」(教科書p.107) 「やぎさんゆうびん」(教科書p.109)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
8	【初級】テキスト87番(p.89) 【中・上級】ポピュラーリズム テキストp.122, 124, 125 【弾き歌い曲】「ぞうさん」(教科書p.110) 「大きな古時計」(教科書p.111)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
9	【初級】テキスト79番(p.81) 【中・上級】「こたりのうた」(教科書p.141) 「ぼくのミックスジュース」(教科書p.142-143) 【弾き歌い曲】「豆まき」(教科書p.115) 「すうじのうた」(教科書p.116)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
10	【初級】テキスト73番(p.73) 【中・上級】「犬のおまわりさん」(教科書p.144) 【弾き歌い曲】「ふしぎなポケット」(教科書p.118/配布楽譜) 「たのしいね」(教科書p.119)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
11	【初級】テキスト90番(p.92) 【中・上級】「さんぽ」(教科書p.172-173) 【弾き歌い曲】「うれしいひな祭り」(教科書p.123/配布楽譜) 「思い出のアルバム」(教科書p.124-125/配布楽譜)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
12	【初級】ブルグミュラー「アラベスク」(配布楽譜) 【中・上級】「エーデルワイス」(教科書p.154-155) 【弾き歌い曲】「一年生になったら」(教科書p.126-127/配布楽譜) 「子どもの世界」(教科書p.128-129)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
13	【初級】ブルグミュラー「牧歌」(配布楽譜) 【中・上級】「おはながわらった」(教科書p.158) 【弾き歌い曲】「にじ」(教科書p.150-151/配布楽譜)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
14	【初級】ブルグミュラー「無邪気」(配布楽譜) 【中・上級】「アンパンマンのマーチ」(教科書p.174-177) 【弾き歌い曲】「線路は続くよどこまでも」(教科書p.157)	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
15	実技試験に向けての練習と総まとめ	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に、実技試験に向けて復習練習する・30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K23032		図画工作表現(1)		1	15	演習	30	前期	2年	蝦名敦子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	※		※								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		図画工作基礎の授業内容を基に、飛び出すカードづくりやさらに様々な材料（自然物/人工物、廃材等）を活用して、共同製作による大作などに挑戦する。										
授業の到達目標		様々な材料・用具を使って製作することができる力を身につけるとともに、テーマを自由に選んで共同製作ができる。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%				
フィードバックの方法		授業で作った成果物は鑑賞する時間を設ける。提出物は展示をし、鑑賞時に解説する。										
教科書・教材		幼稚園要領解説（フレーベル館）、保育所保育指針解説（フレーベル館）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼児造形の基礎（萌文書林）										
参考書・参考文献等		必要に応じて適宜紹介する。										
履修上の注意等		提出物は期日を守って、必ず提出すること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション：授業の内容、進め方について。参考作品の鑑賞(仕組みの理解)					参考作品の鑑賞。10分。			講義内容を整理する。30分。			
2	飛び出すカード①：発想・構想（文字や絵の構成）					飛び出すカードの鑑賞。30分			発想・構想の振り返り。30分。			
3	飛び出すカード②：材料の準備と製作					飛び出すカードの材料・用具の準備。30分			製作の振り返り。30分。			
4	飛び出すカード③：製作					材料・用具の準備。30分			製作の振り返り。30分。			
5	飛び出すカード④：製作					材料・用具の準備。30分			製作の振り返り。30分。			
6	飛び出すカード⑤：製作					材料・用具の準備。30分			製作の振り返り。30分。			

7	飛び出すカード⑥：完成、鑑賞、展示	作品の完成度を高める。30分。	学習内容の整理。30分。
8	廃材（自然物、あるいは人工物）を使った共同製作、参考作品の紹介。共同製作のテーマを決める①。発想	題材の準備、30分。	テーマを決定する。30分。
9	共同製作② 役割分担と全体の構想	役割分担など打合せ。30分。	構想の振り返り。30分。
10	共同製作③ 担当分野の構想と進め方の検討	材料・用具の準備。10分。	後片付け、製作の振り返り。30分。
11	共同製作④ 製作と検討	材料・用具の準備。10分。	製作の振り返り。30分。
12	共同製作⑤ 製作と検討	材料・用具の準備。10分。	製作の振り返り。30分。
13	共同製作⑥ 製作と検討	材料・用具の準備。10分。	製作の振り返り。30分。
14	共同製作⑦ 製作と検討	材料・用具の準備。10分。	製作物を完成させる。30分以上。
15	展示と鑑賞会（製作途中の振り返り）	作品の展示。10分。	学習内容の整理。30分。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K23032		図画工作表現(2)		1	15	演習	30	後期	2年	蝦名敦子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	※		※								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		実習で求められる課題について発展的にみんなで取組み、グループ活動や、リース作り、卒業制作を行う。										
授業の到達目標		幼児の造形表現に関する理解を深め、造形活動に適した環境づくりや鑑賞活動を計画することができる。また造形能力をさらに高める。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%				
フィードバックの方法		授業で製作した成果物は鑑賞の機会を設け、併せて解説する。										
教科書・教材		幼稚園要領解説（フレーベル館）、保育所保育指針解説（フレーベル館）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼児造形の基礎（萌文書林）										
参考書・参考文献等		必要に応じて授業時間に適宜、紹介する。										
履修上の注意等		提出物は期日を守って、必ず提出すること。製作する課題は、変更することがあります。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション：これまでの課題の振り返りと本授業内容と授業の進め方について					前期の作品の鑑賞。10分。			学習内容の整理。30分。			
2	共同製作の続き					材料・用具の準備。10分。			途中経過の振り返り。30分。			
3	共同製作の続き					材料・用具の準備。10分。			途中経過の振り返り。30分。			
4	共同製作の完成					材料・用具の準備。10分。			作品の完成。30分。			
5	柴短祭に展示のための準備					作品の準備。10分。			学習内容の整理。30分。			
6	クリスマスリースの作成①（壁を使った造形①）参考作品の紹介					参考作品の準備。10分。			参考例の収集。30分。			

7	クリスマスリースの作成② (壁を使った造形②) 参考作品の紹介	材料・用具の準備。10分。	アイデアの収集。30分。
8	クリスマスリースの作成③ (壁を使った造形③)	材料・用具の準備。10分。	途中経過の振り返り。30分。
9	クリスマスリースの作成④ (壁を使った造形④)	作品の準備。10分。	学習内容の整理。30分。
10	クリスマスリースの完成と展示⑤	自由製作に資料収集。30分。	学習内容の整理。30分。
11	自由選題による卒業製作① 発想・構想	卒業制作のための材料や技法に関する資料収集。30分。	学習内容の整理。30分。
12	自由選題による卒業製作② 材料の準備	材料・用具の準備。10分。	材料・用具の片付け。10分。
13	自由選題による卒業製作③ 製作	材料・用具の準備。10分。	材料・用具の片付け。10分。
14	自由選題による卒業製作④ 製作 完成をめざす。	完成に向けての準備。30分。	鑑賞会に向けて準備。30分。
15	鑑賞会、図画工作の内容と幼児の表現について総括。	作った作品の振り返り。10分。	講義内容の整理。30分。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22051		在宅保育		2	15	講義	30	後期	2年	江莉川淳子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						○
	○			○							
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力									該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									
		②子どもの心身の特性を知っている									○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
授業概要		履修済みである「乳児保育」「子どもの保健」等を復習しながら、家庭訪問保育の意義や内容を理解し、在宅保育に特化した専門性を学ぶ。									
授業の到達目標		わが国における乳幼児保育の変遷と家庭訪問保育の意義を理解し、家庭訪問保育者の果たす社会的役割を自覚する。また、家庭訪問保育としての保育全体の構造を学び、バランスのとれた保育内容が子どもの健やかな成長に繋がることを理解し、子どものためのよりよい指導方法を考える。									
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	30 %	授業内活動	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%				
フィードバックの方法		小テストや課題は、評価等を書いて翌週の返却時に解説する。									
教科書・教材		「家庭訪問保育の理論と実際 第3版」公益社団法人全国保育サービス協会監修 中央法規									
参考書・参考文献等		「ベビーシッター資格認定試験過去問題集第21回～23回」公益社団法人全国保育サービス協会「家庭訪問保育者必携ハンドブック」 公益社団法人 全国保育サービス協会編集									
履修上の注意等		認定ベビーシッター資格取得のための科目であることを意識して受講すること。									
回	授 業 計 画					授業時間外学習					
						授業前・時間		授業後・時間			
1	・オリエンテーション ・家庭訪問保育とは P2～6 保育マインド P7～16 ・小テスト					・教科書を通読する ・30分以上		・授業や小テストの振り返り ・30分以上			
2	・一般型家庭訪問保育の業務の流れP220～228 ・居宅訪問型保育の概要 P18～27 ・DVD「家庭訪問保育の実際」を視聴 小テスト					・教科書を通読する ・30分以上		・授業や小テストの振り返り ・30分以上			
3	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識① ・乳幼児の生活と遊び P28～37 ・DVD「在宅保育に役立つ遊び“乳児編”」を視聴 小テスト					・教科書を通読する ・30分以上		・授業や小テストの振り返り ・30分以上			
4	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識② ・乳幼児の発達と心理 P38～53 ・DVD「ベビーシッター保育技術マニュアル“乳児の発達”」を視聴 小テスト					・教科書を通読する ・30分以上		・授業や小テストの振り返り ・30分以上			
5	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識③ ・乳幼児の食事と栄養 P54～65 ・DVD「ベビーシッター保育技術マニュアル“乳幼児の食事”」を視聴 小テスト					・教科書を通読する ・30分以上		・授業や小テストの振り返り ・30分以上			
6	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識④ ・小児保健Ⅰ・Ⅱ P66～93 ・DVD「乳幼児を事故から守るため～“事故などの対処法”」を視聴 小テスト					・教科書を通読する ・30分以上		・授業や小テストの振り返り ・30分以上			

7	居宅型訪問保育の実践① ・ 居宅訪問保育の保育内容 P94～106 ・ DVD「家庭訪問保育ベビーシッター」を視聴 小テスト	・ 教科書を通読する ・ 30分以上	・ 授業や小テストの振り返り ・ 30分以上
8	居宅型訪問保育の実践② ・ 居宅訪問型保育の環境整備 P107～115 ・ DVD「子どもを育む保育の環境」を視聴 小テスト	・ 教科書を通読する ・ 30分以上	・ 授業や小テストの振り返り ・ 30分以上
9	居宅型訪問保育の実践③ ・ 居宅訪問型保育の運営と安全確保とリスクマネジメント P116～133 ・ DVD「子どもの事故と予防のチェックポイント」を視聴 小テスト	・ 教科書を通読する ・ 30分以上	・ 授業や小テストの振り返り ・ 30分以上
10	居宅型訪問保育の実践④ ・ 居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項 P134～144 ・ 職業倫理についてのカンファレンス 小テスト	・ 教科書を通読する ・ 30分以上	・ 授業や小テストの振り返り ・ 30分以上
11	居宅型訪問保育の実践⑤ ・ 居宅訪問型保育における保護者対応 P145～157 ・ グループワーク 小テスト ・ ベビーシッター資格について	・ 教科書を通読する ・ 30分以上	・ 授業や小テストの振り返り ・ 30分以上
12	居宅型訪問保育の実践⑥ ・ 子ども虐待 158～169 ・ 特別に配慮を要する子どもへの対応 P170～184 小テスト	・ 教科書を通読する ・ 30分以上	・ 授業や小テストの振り返り ・ 30分以上
13	実践演習① ・ 保育技術（お世話編） P185～206 ・ DVD「産後ケア、沐浴、ミルク」 ・ DVD「ベビーシッター保育技術マニュアル乳児の排泄、睡眠」を視聴 小テスト	・ 教科書を通読する ・ 30分以上	・ 授業や小テストの振り返り ・ 30分以上
14	実践演習② ・ 保育技術（遊び編） P207～217 ・ DVD「在宅保育に役立つ遊び“幼児編、児童編”」を視聴 小テスト	・ 教科書を通読する ・ 30分以上	・ 授業や小テストの振り返り ・ 30分以上
15	・ さまざまな家庭訪問保育 P229～242 ・ DVD「産後ケア 家事支援」を視聴 小テスト	・ 教科書を通読する ・ 30分以上	・ 授業や小テストの振り返り ・ 30分以上

ナンバリング		科目名			単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22052		子どもの文化と遊び			2	15	演習	30	後期	2年	保育科教員		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								○
	○	○	○	○									
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力											該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○
		②子どもの心身の特性を知っている											
		③子どもにとって望ましい環境を理解している											
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要		・ 児童文化や児童文化財についての知識を身につける。 ・ 伝承遊びや年中行事についての理解を深める。 ・ 子どもの年齢に適した遊びの内容や遊び方など保育の展開方法を学ぶ。											
授業の到達目標		・ 世代を超えて伝わる遊びや保育における年中行事に関する遊びを理解する。 ・ 遊びの楽しさを子どもに伝える方法を身につける。											
単位認定の方法		期末試験	—	%	授業内小テスト	—	%	授業内活動	40	%	計 100 %		
		期末レポート	20	%	授業内提出物	40	%	その他	—	%			
フィードバックの方法		・ 授業時に提出する出席カードにコメントを記入します。 ・ 翌回の授業時に、出席カードの記述に対するフィードバックを行います。											
教科書・教材		太田光洋[監修]・安氏洋子[編著](2024)『子どもの音楽表現と保育内容表現』保育出版会											
参考書・参考文献等		「よくわかる！保育士エクササイズ11 子どもの文化 演習ブック」ミネルヴァ書房, 松本峰雄監修 遠藤純, 大野雄子, 岡崎裕美, 尾山祥子, 才郷真弓, 鈴木範之, 高橋小百合, 高橋司, 田中幸, 福澤惇也, 藤田佳子, 松本峰雄著											
履修上の注意等		・ 子どもの遊びや年中行事に関心を持ち、積極的な授業への参加を期待します。 ・ 各自ファイルを準備し、配布資料を保管しておきましょう。 ・ 体験活動を行いますので、動きやすい服装で参加するようにしましょう。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	オリエンテーション 児童文化・児童文化財(1)子どもの文化とは何か 担当：金山					子ども文化について調べる。 30分以上				授業内容を振り返り、まとめる。 30分以上			
2	児童文化・児童文化財(2)子どもの遊び 担当：金山					子どもの遊びについて調べる。 30分以上				授業内容を振り返り、まとめる。 30分以上			
3	児童文化・児童文化財(3)子どもの発達と児童文化財の選び方 担当：金山					子どもの発達と児童文化財について調べる。 30分以上				授業内容を振り返り、まとめる。 30分以上			
4	わらべうた(1)わらべうたの特徴と分類 担当：金山					わらべうたの特徴と分類について調べる 30分以上				授業内容を振り返り、まとめる。 30分以上			
5	わらべうた(2)遊びの形態 担当：金山					遊びの形態について調べる 30分以上				授業内容を振り返り、まとめる。 30分以上			
6	わらべうた(3)保育におけるわらべうたの意義 担当：金山					わらべうたの意義について調べる 30分以上				授業内容を振り返り、まとめる。 30分以上			

7	わらべうた(4)わらべうたの展開方法 担当：金山	わらべうたの展開方法について調べる。 30分以上	授業内容を振り返り、まとめる。 30分以上
8	伝承遊び(1)伝承遊びの種類や特徴 黒石ねぶた活動紹介 担当：今、佐藤	自分の知っている伝承遊びについて調べる。 30分以上	授業内容を振り返り、まとめる。 30分以上
9	伝承遊び(2)体を動かす遊び① 担当：今、佐藤	自分の知っている伝承遊びについて調べる。 30分以上	授業内容を振り返り、まとめる。 30分以上
10	伝承遊び(3)体を動かす遊び② 担当：今、佐藤	自分の知っている伝承遊びについて調べる。 30分以上	授業内容を振り返り、まとめる。 30分以上
11	年中行事(1)保育における年中行事の意義 担当：金山	行事の由来と特徴について調べる。 30分以上	各自、教材研究などを進める。 30分以上
12	年中行事(2)行事の由来と特徴 担当：金山	行事の意義について調べる。 30分以上	各自、教材研究などを進める。 30分以上
13	年中行事(3)行事の展開方法 担当：金山	行事の展開方法について調べる。 30分以上	授業内での発表を振り返り、まとめる。 30分以上
14	年中行事(4)異文化理解 担当：米塚	海外の行事について調べる。 30分以上	授業内での実践を振り返り、まとめる。 30分以上
15	授業全体の振り返り(期末レポートの作成も含む) 担当：金山	これまでの学習内容を振り返る。 30分以上	実際の保育の場面での展開方法について検討する。 30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22052		子どものための総合演習		2	15	演習	30	前期	2年	江荊川淳子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							○
	○	○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		現代の保育を巡る問題を考えながら、「子どもに伝えたい大切なこと」をテーマに具体的な内容をグループ討議により内容を決定する。演目における計画・脚本・衣装・舞台・作曲等のすべてを学生が考えて進める中で「仲間と心を合わせて目標に向かう力」「コミュニケーション能力」「表現力」「話す力」を身につける。課題成果として、子どもが楽しめる演目を演じ発表する。										
授業の到達目標		1 保育に関する科目横断的な学習能力や保育技術(表現力)を習得する。 2 課題について協働しながら現状分析、考察、検討をする力を養う。 3 問題解決の対応、判断について学びを深める。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	30	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	70	%	その他	%				
フィードバックの方法		個人演目は評価シートを使い、フィードバックを行う。										
教科書・教材		特になし。必要な場面で資料配布をする。										
参考書・参考文献等		「こどものミュージカル」城野賢一・清子＝監修・振付 ドレミ楽譜出版社 「発表会のための年齢別劇・オペレッタ&合奏」チャイルド本社										
履修上の注意等		・保育職をイメージしながらグループ活動に取り組み、協働して行うこと。 ・ノート(A4サイズ)を準備し、講義後は毎回授業を振り返りノートにまとめること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	・オリエンテーション ・保育者の役割や保育技術について ・グループ演目についての討議(テーマ・内容)をする ・個人の手作り教材の作成①検討と計画表の作成					・子どもの演劇を調べる ・30分以上			・活動を記録し、演目の内容について考える ・30分以上			
2	・表現のトレーニング①発声練習、大縄跳び ・グループ演目についての討議(テーマ・内容・台本作り)をする ・個人の手作り教材の作成②					・演目の下調べをする ・30分以上			・授業を振り返りノートをとめる ・30分以上			
3	・表現のトレーニング②発声練習、喜怒哀楽の喜 ・グループ演目で台本を検討し、計画表を作成する ・個人の手作り教材の作成③					・授業で必要な物の準備や調べ物をする ・30分以上			・授業を振り返りノートをとめる ・30分以上			
4	・表現のトレーニング③発声練習、喜怒哀楽の怒 ・グループ演目で台本を検討し、配役・担当決めをする ・個人の手作り教材の作成④					・授業で必要な物の準備や調べ物をする ・30分以上			・授業を振り返りノートをとめる ・30分以上			
5	・表現のトレーニング④発声練習、波戸哀楽の哀 ・グループ演目の準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等) ・個人の手作り教材の作成⑤					・授業で必要な物の準備や調べ物をする ・30分以上			・授業を振り返りノートをとめる ・30分以上			
6	・表現のトレーニング⑤発声練習、簡単な劇の練習 ・グループ演目の準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等) ・個人の手作り教材の作成・完成⑥					・授業で必要な物の準備や調べ物をする ・30分以上			・授業を振り返りノートをとめる ・30分以上			

令和8年度

7	・表現のトレーニング⑥発声練習、簡単な劇の練習 ・グループ演目の準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等) ・個人の手作り教材の練習	・個人の手作り教材の練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
8	・表現のトレーニング⑦発声練習、簡単な劇の練習 ・グループ演目の準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等) ・個人の手作り教材の発表	・個人の手作り教材の練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
9	・表現のトレーニング⑧発声練習、簡単な劇の練習 ・グループ演目の準備を進め、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等) ・個人の手作り教材の発表	・個人の手作り教材の練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
10	・表現のトレーニング⑨発声練習、簡単な劇の発表 ・グループ演目の準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等) ・個人の手作り教材の発表(4人ずつ)	・個人の手作り教材の練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
11	・表現のトレーニング⑩発声練習 ・グループ演目の準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等) ・個人の手作り教材の発表(4人ずつ)	・個人の手作り教材の練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
12	・表現のトレーニング⑪発声練習 ・グループ演目の準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲づくり等) ・個人の手作り教材の発表(4人ずつ)	・個人の手作り教材の練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
13	・表現のトレーニング⑫発声練習 ・グループ演目の準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲づくり等) ・個人の手作り教材の発表(4人ずつ)	・個人の手作り教材の練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
14	・表現のトレーニング⑬発声練習 ・グループ演目の準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲づくり等) ・個人の手作り教材の発表(4人ずつ)	・個人の手作り教材の練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
15	・表現のトレーニング⑭発声練習 ・グループ演目を完成する ・個人の手作り教材の発表(4人ずつ)	・個人の手作り教材の練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22052		子どものための総合演習		2	15	演習	30	後期	2年	江莉川淳子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							○
	○	○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
授業概要		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業の到達目標		前期「子どものための総合演習」に引き続き、演目における計画・脚本・衣装・舞台・作曲等のすべてを学生が考えて進める中で「仲間と心を合わせて目標に向かう力」「コミュニケーション能力」「表現力」「話す力」を身につける。課題成果として、子どもが楽しめる演目を演じ発表する。										
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	20	%		計 100 %
		期末レポート	60 %		授業内提出物	20 %		その他				
フィードバックの方法		講義の最後には、「身体性」「発声」「理解度」「アンサンブル」の4つの観点からフィードバックを行う。それぞれの達成度を客観的に伝えたとともに、次回の稽古に向けた具体的な改善ポイントを共有し、表現力の向上を目指す。										
教科書・教材		特になし。必要な場面で資料配布をする。										
参考書・参考文献等		「こどものミュージカル」城野賢一・清子＝監修・振付 ドレミ楽譜出版社 「発表会のための年齢別劇・オペレッタ&合奏」チャイルド本社										
履修上の注意等		・保育職をイメージしながらグループ活動に取り組み、協働して行うこと。 ・ノート(A4サイズ)を準備し、講義後は毎回授業を振り返りノートにまとめること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	各グループで演目について討議（配役、照明、効果音など）をする					・台本を読む ・発声練習をする ・30分以上			・授業を振り返りノートまとめる ・30分以上			
2	各グループで演目の練習をする①－全体でのセリフ回し－					・演目練習や発声練習をする ・30分以上			・授業を振り返りノートまとめる ・30分以上			
3	各グループで演目の練習をする②－場面毎－照明や効果音、舞台セッティングを考える					・演目練習や発声練習をする ・30分以上			・授業を振り返りノートまとめる ・30分以上			
4	各グループで演目の練習をする③－場面毎－照明や効果音、舞台セッティングを考える					・演目練習や発声練習をする ・30分以上			・授業を振り返りノートまとめる ・演目の練習と各グループの準備や製作をする ・30分以上			
5	・各グループで演目の練習をする④－場面毎－照明や効果音、舞台セッティングを通して行う ・必要に応じて舞台、衣装、効果音作りをする					・演目練習や発声練習をする ・30分以上			・授業を振り返りノートまとめる ・演目の練習と各グループの準備や製作をする ・30分以上			
6	・各グループで演目の練習をする⑤－場面毎－照明や効果音、舞台セッティングを通して行う ・必要に応じて舞台、衣装、効果音作りをする					・演目練習や発声練習をする ・30分以上			・授業を振り返りノートまとめる ・演目の練習と各グループの準備や製作をする ・30分以上			

7	・全体練習① ・必要に応じて舞台作り、衣装作り、効果音作りをする	・演目練習や発声練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・演目の練習と各グループの準備や製作をする ・30分以上
8	・全体練習② ・必要に応じて舞台作り、衣装作り、効果音作りをする	・演目練習や発声練習をする。 ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・演目の練習と各グループの準備や製作をする ・30分以上
9	・全体練習③ ・必要に応じて舞台作り、衣装作り、効果音作りをする	・演目練習や発声練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・演目の練習と各グループの準備や製作をする ・30分以上
10	リハーサル 改善点について確認し、準備や練習を行う	・演目練習や発声練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・演目の練習と各グループの準備や製作をする ・30分以上
11	発表に向けて改善点について確認し、準備や練習を行う① 各グループの意見交換をする	・演目練習や発声練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・演目の練習と各グループの準備や製作をする ・30分以上
12	発表に向けて改善点について確認し、準備や練習を行う② 各グループとの共同練習をする	・演目練習や発声練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・演目の練習と各グループの準備や製作をする ・30分以上
13	発表に向けて改善点について確認し、準備や練習を行う③ 各グループと最終確認をする	・演目練習や発声練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・演目練習 ・30分以上
14	演目発表	・演目練習や発声練習をする ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上
15	演目発表を振り返り、課題についてまとめディスカッションをする	・自分の意見をまとめる ・30分以上	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K23052		運動あそび(4)		2	15	演習	30	後期	2年	今和香子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	※		※								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		運動遊び（１）（２）（３）での講義内容を基礎として、運動遊びを展開するうえで環境構成に配慮した指導上の留意点や安全管理等についていっそう理解を深め、幼児の身体の発育・発達に即した運動遊びの内容と実践的な指導法について学習する。										
授業の到達目標		幼児の運動遊びの指導内容・指導法を理解し、実践的な指導力を身に付ける。										
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	50	%		
		期末レポート	%		授業内提出物	50		その他	%		計 100 %	
フィードバックの方法		・毎時間、授業内活動（動きの習得状況等）について解説する。 ・授業内提出物（模擬保育指導案等）は返却時に解説する。 ・グループワークは、発表時解説する。										
教科書・教材		「幼児の楽しい運動学習」不味堂出版										
参考書・参考文献等		必要に応じて資料を配布する。										
履修上の注意等		テキストを参考に各種の運動遊びについて調べ、講義終了後、幼児の指導上の留意点や安全管理等についてをノートにまとめたり、実際場面を想定して指導案を作成したりする。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	講義内容を把握し、幼児の運動遊びの内容や効果について学ぶ。					テキストを復習し、内容を概観する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
2	身体表現あそび①幼児における身体表現について学び、身体表現あそびを体験する。					「はとポッポ体操」を復習する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
3	身体表現あそび②身体表現によるコミュニケーションについて学び、身体表現あそびを体験する。					「うれしい・悲しい・怖い」などの感情を表すジェスチャーを考えておく。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
4	身体表現あそび③発達過程からみる乳幼児の身体表現や学童期への接続について学び、身体表現あそびを体験する。					身体表現あそびの指導計画を考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
5	身体表現あそび④動きの要素について学び、身体表現あそびを体験する。					身体表現あそびの時間配分等を考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
6	マットを使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。					マットを使った遊びを復習し、遊び方を考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			

7	跳び箱を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。	跳び箱を使った遊びを復習し、遊び方を考える。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
8	鉄棒を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。	鉄棒を使った遊びを復習し、遊び方を考える。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
9	平均台を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。	平均台を使った遊びを復習し、遊び方を考える。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
10	運動遊びの指導法①指導計画の立案方法を復習し、指導計画を作成する。	運動遊びの活動内容を考える。 ・20分	運動遊びの指導案を作成する。 ・40分
11	運動遊びの指導法②年齢別の運動遊びについての指導案を作成し、指導法を検討する。	運動遊びの指導案を検討する。 ・40分	運動遊びの指導案を修正する。 ・20分
12	運動遊びの指導法③グループごとに活動内容を考え、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。	模擬保育の準備をする。 ・30分	実施した模擬保育について分析し、指導法についてまとめる。 ・30分
13	運動遊びの指導法④グループごとに活動内容を考え、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。	模擬保育の準備をする。 ・30分	実施した模擬保育について分析し、指導法についてまとめる。 ・30分
14	運動遊びの指導法⑤グループごとに活動内容を考え、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。	模擬保育の準備をする。 ・30分	実施した模擬保育について分析し、指導法についてまとめる。 ・30分
15	グループごとに模擬保育の内容を振り返り、改善点などを話し合う。	各グループの模擬保育について改善点をまとめる。 ・30分	授業内容全体を振り返り、要点をまとめる。 ・30分

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K21551		人間関係				2	15	講義	30	前期	2年	佐々木美子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								
○		○	○	○									
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力											該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○
		②子どもの心身の特性を知っている											○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している											○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											
授業概要		現代のこどもの人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因を理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を学び、身に付ける。他者との関係や集団との関係の中で、乳幼児期の人と関わる力が育つことを事例を通して理解する。											
授業の到達目標		幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「人間関係」のねらいと内容を理解する。乳幼児期における人との関わりの発達を踏まえ、幼稚園や保育所、認定こども園における人間関係の大切さや、保育者の援助について理解する。											
単位認定の方法		期末試験	60 %		授業内小テスト			%	授業内活動			%	計 100 %
		期末レポート			%	授業内提出物	30 %		その他	10 %		%	
フィードバックの方法		課題レポートは添削、または授業内で説明をする。											
教科書・教材		演習 保育内容 人間関係 一基礎的事項の理解と指導法一											
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領・保育所保育指針・その他											
履修上の注意等		領域のねらいや内容を理解するとともに覚え、それを基に人間関係に対する自分の考えをもち、保育の大切さを知る。											
回	授 業 計 画						授業時間外学習						
							授業前・時間			授業後・時間			
1	現代社会と子どもの人との関わり・育ちの意味						シラバスに目を通す 教科書を読む 30分以上			教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
2	領域「人間関係」のねらいと内容・内容の取扱いを理解する① 乳児保育 「身近な人と気持ちが通じ合う」						保育所保育指針解説・教科書を読む ノートにまとめる(乳児保育 ねらい・内容) 30分以上			教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
3	領域「人間関係」のねらいと内容・内容の取扱いを理解する② 1歳以上3歳未満児「人との関わりに関する領域」						保育所保育指針解説・教科書を読む ノートにまとめる(1歳以上3歳未満児 ねらい・内容) 30分以上			教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
4	領域「人間関係」のねらいと内容・内容の取扱いを理解する③ 3歳以上児「人との関わりに関する領域」						保育所保育指針・幼稚園教育要領解説・教科書を読む ノートにまとめる(3歳以上児 ねらい・内容) 30分以上			教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
5	領域「人間関係」における「自立心」と「協同性」について						保育所保育指針・幼稚園教育要領解説・教科書を読む ノートにまとめる(幼児期の終わりまでに育ってほしい姿) 30分以上			教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
6	領域「人間関係」における「道徳性・規範意識の芽生え」と「社会生活と関わり」について						教科書を読む 30分以上			教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			

7	0・1・2歳児の子どもの人間関係のひろがり	教科書を読む 30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
8	3歳児の姿、育ちと遊びや人との関わり 3歳児の人間関係の育ちを支える	教科書を読む 30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
9	4歳児の姿、育ちと遊びや人との関わり 4歳児の人間関係の育ちを支える	教科書を読む 30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
10	5歳児の姿、育ちと遊びや人との関わり 5歳児の人間関係の育ちを支える	教科書を読む 30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
11	保育における個の育ちと集団の育ち	個の育ち・集団の育ちについて調べる 30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
12	人との関わりが難しい子どもへの支援	教科書を読む 30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
13	子どもの育ちを支える保護者と保育者の人間関係 人間関係を育む学級経営	教科書を読む 30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
14	子どもの育ちに関わる地域の人々との人間関係 人間関係をめぐる諸問題	教科書を読む 現代における人間関係について考えをまとめる 30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
15	まとめ 幼児期の人間関係と学童期以降の育ちのつながりを理解する	スタートカリキュラム・アプローチ カリキュラムについて調べる 30分以上	教科書等での振り返り (課題への取り組み) 30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21551		環境		2	15	講義	30	後期	2年	蝦名敦子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
○		○	○	○								
ディプロマポリシー (学習成果)		身につけるべき力										該当項目に○
		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		前期の「環境の指導法」の内容をさらに発展的に行う。畑の野菜を収穫するなど、一年を通した植物の成長を見守りながら、体験的に自然と触れ合う。また、乳幼児期の子どもたちに必要な環境とは、どのようなものなのか。保育者として子どもたちの育ちを支える環境を通しての援助について、さらに学習する。										
授業の到達目標		○幼稚園教育要領に示された「環境」のねらい及び内容、内容の取扱いについてさらに実践的、発展的に理解する。 ○実った野菜の収穫などを通して具体的な指導場面を想定しながら、「環境」に関する保育を実践できる力を養う。										
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	50	%	計 100 %	
		期末レポート	20 %		授業内提出物	30 %		その他		%		
フィードバックの方法		授業内活動については、発表の時間を設けて交流を図り、解説する。授業内提出物については、その結果を明らかにし、次の授業に反映させる。										
教科書・教材		幼稚園教育要領（平成29年3月31日告示 文部科学省）、保育所保育指針（平成29年3月31日告示 厚生労働省）、幼保連携型認定こども園・保育要領（平成29年3月31日告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省）										
参考書・参考文献等		授業中に必要に応じて資料プリントを配布する。										
履修上の注意等		提出物は期日を守ること。外での活動では、軍手の準備や服装に留意すること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション 後期の「環境」の内容について、「環境」に関する昨年の本学での事例紹介他					事前に幼稚園教育要領に目を通す。30分。			学習内容を整理する。30分。			
2	「環境」の内容と身近な自然との関わり（秋草の観賞、名札作り、草取り、MAP作りの準備）、松ぼっくりなどの材料集め（作品づくりの材料用）					外での活動に対する準備。10分。			学習内容を整理する。30分。			
3	「環境」の「3内容の取扱い」（1）～（3）について、具体例を挙げながら考察。DVD①～子どもの「やりたい」に応える環境～〔物的環境〕、〔自然環境〕					事前に幼稚園教育要領や配布資料に目を通す。30分。			学習内容を整理する。30分。			
4	「環境」の「3内容の取扱い」（4）（5）について、具体例を挙げながら考察。DVD②～子どもの「やりたい」に応える環境～〔情報環境〕、〔地域環境〕、〔人的環境〕、〔安全環境〕					事前に幼稚園教育要領や配布資料に目を通す。30分。			学習内容を整理する。30分。			
5	サツマイモの収穫：地中のサツマイモの成育を観察。芋を新聞紙で包む。太い蔓（リース用）と細い蔓（食用）に分ける。					外での活動に対する準備。10分。			学習内容を整理する。30分。			
6	枝豆を収穫して乾燥させる。ミニトマトの畑の整備。					外での活動に対する準備。10分。			学習内容を整理する。30分。			

7	校内の環境について：MAP作り①～校庭の植物を知る～	外での活動に対する準備。10分。	情報収集と整理。30分。
8	校内の環境について：MAP作り②～担当箇所の植物の特徴について調べる～	SDG s について調べる。30分。	情報収集と整理。30分。
9	校内の環境について：MAP作り③～植物MAPの製作～ 手描きやパソコンを使って作成。	食育の内容の整理。30分。	植物MAの完成。30分以上。
10	校内の環境について：MAP作り④～発表と展示（冊子づくり）～	必要な資料の準備。30分	冊子の完成。30分以上。
11	クリスマスリース作り（サツマイモの蔓を使って）	必要な材料の準備・用具の準備。10分。	後片付け。10分
12	クリスマスリースと環境づくり（クリスマスリースの完成と展示）	リースの完成と展示のための準備。10分。	展示したリースの鑑賞。10分
13	「環境」の実際：プロジェクト活動～荒尾第一幼稚園と東雲幼稚園の事例～	幼稚園教育要領の理解。10分。	授業の振り返り。10分
14	環境の畑づくりから「食育」へ～「子どもの食と栄養」との合同授業～	発表の準備。10分。	振り返りをまとめる。30分
15	「環境」に関する全体的な総括、レポート	幼稚園教育要領と配布資料を準備。10分。	学習内容を整理する。30分。